



年頭に当たって

会長 石井 實

平成15年の新春に当たり謹んでお慶びを申し上げます。

東京八王子プロバスクラブ2002事業年度も早や折り返し点を迎えました。役員諸氏並びに会員の皆さま方のご尽力の賜と衷心より感謝申し上げる次第であります。

さて、世界経済は不況の谷間から容易に這い上がれず、また思想信条・貧富等を要因としたテロの脅威に晒され、不安感は日々募っております。私どもが経験し培ってきた尺度では対応できぬ多彩な進展、変化が続く中、家族、国家、世界の繁栄と安寧を願うのは人類共通の課題でありましょう。

次世代に何かを残したい、社会に貢献したいとの想いもまた私ども共通の目的でありますし、余生を楽しみつつ自己実現ができたなら素晴らしいことと思います。私どもが取り組んできたプロバス生涯学習サロンはその具現化の一つであります。過去6回の実績を持ち、稍マンネリ化の誘いありとは申せ、社会から認知され定着した事業に成長して参りました。本年度も種々準備が進行し、来る2月に開講できる運びとなっております。全会員の創意工夫、協働で7回目のサロンを一層充実したものにしたい。そして、クラブの礎を更に堅固なものとし、組織として将来に向かって羽撃きたい……。皆さま方の和・協働を切にお願い申し上げます。

終わりに、皆さま方の益々のご繁栄ご健康を心より祈念申し上げ年頭所感と致します。

◎第86回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日時 平成14年12月12日（木）午後0時30分より

場所 八王子エルシィ 4階

出席者 会員 58名

来賓 八王子南RCより2名

加賀谷恵副会長、廣瀬武彦SAA委員長

1. 会長挨拶

お寒くなってきましたと言葉を交わすような日々になりました。

本日は八王子南RCから次年度の会長候補・幹事候補のお二人のお出でをいただいております。

前月は、小田原方面の野外研修を行い、それぞれの行事や行動のすべて実りの多いまた楽しい一日を過ごした。更に下旬には、いちよう祭りにも参加し、配本の手伝いも行い、これもたいへん良い成果を挙げた。各担当委員会や関係の会員の皆さんに感謝したい。

いつもニュースの話題を提供するように心掛けているが、先般国土交通省は夢の島に植樹をして林をつくる構想を発表したが、たいへんに結構なことと思っている。

2. 来賓挨拶（加賀谷恵 東京八王子南RC副会長）

ご紹介をいただき、ありがとうございます。久しぶりの出席ですが、私ども程なく20周年を迎えるので、これを是非成功させるよう今から考えているところであります。今後ともどうかよろしく申し上げます。

3.新入会員紹介

矢島一雄（やじま かずお） 〈推薦者：西志村光治会員〉

昭和7年10月26日生 住所：〒192-0043 八王子市暁町1-45-4 TEL.0426-23-3925

主な経歴：八王子市収入役、 趣味：写真、登山、ゴルフ、 会員番号：80 所属：会員委員会

◇入会挨拶の後、会長よりバッジが手渡された。

4.幹事報告（松尾幹事）

①幹事としては、この半年間、各委員会には新しい問題にも取り組んでいただき、感謝したい。

②いちょう祭りでは、たいへん成果があったと会長より話がされたが、祭典実行委員会からはまことに丁重な礼状をいただいた。

③次回には、年度後半の会費納入をお願いしたい。会費18,000円と10周年事業積立金2,000円の計20,000円となっている。別紙文書を配布したのでよろしく。

5.委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

次回例会は、例会の後に新年会を計画している。幹事と相談したところ補助が出来るとのことなので、会費は5,000円となった。会場は富士森会館「海苑」で午後5時開始予定であるので、八王子駅南口に午後4時半にバスを用意した。なお新年会はいくつか楽しみの企画を考えている。

◎情報委員会（浅輪委員長）

特になし

◎会員委員会（西志村委員長）

①会費の徴収は当委員会が担当する。次回例会に集金するので準備願いたい。

②会員名簿を作成する。訂正事項があれば、申し出願いたい。

◎研修委員会（塩沢委員長）

①野外研修は35名参加で実施した。小田原城の資料解説・案内では野口正久会員にお世話になった。また多くの会員にも協力いただき、お礼を申し上げたい。バスの中ではレクリエーションも楽しんだ。

②研修委員会では同好会の活動を推奨している。後ほど紹介があるので希望の方はご参加いただきたい。

◎地域奉仕委員会（浜野委員長）

①いちょう祭りの件、先月の野外研修の折に通行手形を販売したが、預かった手形は完売した。なお、いただいた割戻金は、本会計に入金した。

②また、いちょう祭りには2日間で20名の会員に協力いただいて、リサイクル図書の配布を担当し、予定の約7割方を消化した。たいへんご苦勞様でした。

③第7回生涯学習サロンについては、このほど日程と各委員会分担事項を確定したので、理事会にて各委員長に配布した。分担事項については、理解・協力を願いたい。

④また、このサロンには全員の登録をお願いする。登録料は2月例会に集金を行いたい。本日はサロン概要紹介とサロン希望テーマ調査票用紙を配布したが、希望を調査票に記入の上、次回例会までに提出願いたい。なお希望の調整が考えられるがご理解下さい。

6.卓話「図書館ボランティアの活動」 廣瀬智子会員

わたしが活動している八王子図書館ボランティアの会は、平成8年10月に発足した有志の組織である。

その1年位前のこと、歴代教育長・歴代図書館長・図書館協議会の関係者やOBなどが集まる機会があった。そのとき、何か図書館のお役に立つことはないだろうかという話題が出て、それが端緒となった。そして、会則を作り、有志も入って30人程度になった。

メンバーは、何と言っても本が好き図書館が好きという人々で、当初は、図書分類十進法や、図書の配置、修理法などを学び、とにかく素人にできる配架の手伝い・簡単な修理・お話の会などをすることにした。

その後、会の事業も図書館行事参加・事業の手伝いや、研修見学会・講演会の開催などと拡大していった。

夏休みに小・中学生を集め、図書に親しむよう奨める行事も手伝う。また除籍の手伝いもするが、その図書は、本の足りない学校や市の施設、いちょう祭りなどでリサイクル図書として活用されていて、活動が大きく役立っていることを知り嬉しい。現在は協力というかたちから図書館と共に働くことになってきている。

私は主としてお話の会に出ているが、「大きなかぶ」の話をしたときは、子どもたちの掛け声の唱和もあって実に楽しいものであった。子どもたちが受身だけではなく共感できることがよかったと思う。

先月には総会があり、今まだ子先生が「本が消える」というお話をされた。大量に使われている西洋紙は、和紙と違って酸性紙であるために、保存が長期に出来ないことがあるという。図書という貴重な文字の文化が消えるという警告は、たいへん大きな問題ではないかと改めて感じた次第である。

7. その他

○人権週間に際しその紹介と「人権の擁護」冊子等の配布（廣瀬智子会員）

○お茶の会「一期一会のお茶のお誘い」（阿部治子会員）

8. 懇談

今月は、各委員会ごとでの情報連絡、相互理解等を目的に約25分間、それぞれ意見交換を行い今後の運営方針について話し合った。

9. プロバス讃歌斉唱

10. 閉会挨拶（立川副会長）

早いものでもう12月、一年の努力を振り返る時期になりました。年を重ねると言うことは、まさにこのことであろうと思う。来年の干支は未だが、この半年、動物をテーマにいろいろな話題提供を行ってきた。人間の世界でも健康問題・医療費・運動など、我々には考えさせられる問題も多い。例えばこのまま平均年齢が100歳になったら、果たしてどういう社会になっているのだろうか、興味を感じることもある。

会員の皆様、どうか良いお年をお迎えになり、そして、年を改めて、新年にはまた元気な顔でお会いすることを楽しみにいたしたいと思います。

◎随想

拉致事件の帰趨

藤野 豊

銀行に強盗が押し入って、人質をとって立てこもっている。犯人は警察に逃走用の自動車を用意しろと言う。警察は車の準備が出来たと嘘を言って、犯人をおびき出して捕まえる。誰も警察が嘘を言ったことを非難しない。

北朝鮮に拉致された日本人5名は、日本に5日くらい滞在してから、一旦北朝鮮に戻り、あらためて家族を連れて日本に帰るものと、一般の人は考えていた。ところが、日本政府は5日を過ぎても5人を帰さない。

北朝鮮側は、日本政府が約束に違反したという。日本側は、拉致被害者の家族を日本に来させるのが先決だと主張する。

新聞によれば、日本政府内には、5人を一旦帰そうという考えと、帰すべきでないという考えがあり、調整の結果、帰さない方針をとることになったと報じられている。

北朝鮮政府を銀行強盗と同じ凶悪犯人だと考えれば、北朝鮮政府に対しては約束を破ろうと、どうしようとかまわさない。約束は無効である。しかし、北朝鮮を、とにかくにも国際社会の一員であると考えれば、約束は約束として守るべきだということになる。もともと、国際社会は法を守る国の集まりとされているので、サダム・フセインや金正日・金正日親子のような人物

が率いる「ならずもの国家」があるとは予想していない。

理屈だけを考えて、北朝鮮の方が筋が通り、日本政府の主張は問題のすり替えのように見える。私は5人を北へ帰せとっているのではない。日本人だけでなく、世界の多数の国の人々が、日本政府の主張に賛同してくれるような理屈はないものかと思う。私はそういう理屈は探せば必ずあると思う。しかも、その理屈は事態が起こってから見つけ出すのではなくて、事前に、万一の場合を考えて「つまずきの石」をあちこちに埋めておいて、いざというとき相手に踏ませることができるよう準備が必要であろう。

ユダヤ人は数千年来他民族に取り囲まれ、他国の包囲の中で生きてきた。そのため自分を正当化するための理屈と証拠を常に準備している。イラクのサダム・フセインもこの期に及んで自己正当化の理屈を述べて国際世論に訴えている。ブッシュ大統領が、北朝鮮よりもまずイラクを叩けと決断したように、フセインは金正日よりも悪いほうでは上手であろう。フセインよりは組みしやすい金正日に対抗できる日本の理論を考えましょう。常に世論を味方につけられる理屈を考え出しましょう。その努力を怠って、忠臣蔵の殿中刃傷や真珠湾攻撃の愚を繰り返さないようにしましょう。

◎投稿

私の履歴書

我が故郷“讃岐の国”

徳永 保徳

1937年私は讃岐の国（香川県）で生まれた。最近テレビ、新聞、週刊誌で東京進出の話題の多い讃岐うどん、弘法大師の四国八十八ヶ所遍路の旅、又自然の景観も素晴らしい。標高はさほどでもないが、西行が「讃岐にはこれを富士といひの山朝げの烟たたぬ日もなし」とうたったように讃岐富士の愛称を持つ山容の美しい飯野山、大小の御握りやお饅頭の様な山々、降雨量が少ない対策の満濃池に代表される大小無数の溜池、波静かな瀬戸内海の紺碧の海と調和して美しい島々と瀬戸大橋が溶け込んで、帰郷の折り空から見る風景は、まるで箱庭の様に美しい。気候が温暖で年間を通じて晴天が多いことであげられることに、今は姿を消したが「讃岐三白（塩・綿・砂糖）の一つ製塩業も気候が育てたもので特に冬は抜けるような青空の広がる日が多い。そんな環境の中で毎日讃岐富士を眺めながら農家の九人兄弟の六男の末子で育った。

終戦の年は小学校三年で当日は暑い最中で、友達の家で藁草履を造っていたことを覚えている。私達は戦前、戦後の教育を受け、その後世の中の仕組みや制度が変化の中で境界点を何とか滑り込み年金生活を迎えることが出来た。今迄の人生を総括すると、1955年社会人としてスタートして55年体制の中で、一生懸命働き努力すれば世の中がそれなりに応えてくれる「恵まれた時代」を送ってきたように思う。

1955年松下電工(株)に入社、東京、北九州、熊本、横浜、札幌と45年間転勤生活、多くの方々との出会、交流が忘れられなく今も続く、生涯大切にしたいと思っています。運良く役員にもなり、最後は関連会社の社長で2000年に63才で退任、今は非常勤の名誉顧問で毎日が日曜日の生活である。

うどん＝讃岐（香川）を連想されるほど、今では全国的に有名な讃岐うどん、腰の強さと艶やかさ、程良い塩加減は讃岐うどんならではの、その秘密は讃岐平野でとれる良質な小麦と土三寒六（夏は塩一水三、冬は塩一水六）と呼ばれる独得の調合法にあります。

シンプルな「かけうどん」から瀬戸内海で捕れる魚介類を使った「うどんすき」までメニューは様々あるが、何と云ってもあげたての麺を冷たい井戸水で洗い、生醤油をかけて食べるのが一番だろう。

瀬戸大橋のまだ無い頃の帰郷する時の一番の楽しみは夜行列車瀬戸号に乗り、宇高連絡船で宇野から高松へ到

着すると匂ってくる懐かしいうどんの出汁の香り、たまたま駆け寄っていただくうどんのうまいこと、故郷に帰ってきた事を実感したものです。

子供の頃強烈に残っている情景がある。夏の太陽のキラキラ輝く暑い盛りである、八十八ヶ所巡りの母娘の二人連が我が家の庭先に立った。母親が自分に替ってお大師さんに御参り頂きたいとの願いを込めてお米をずた袋に収め接待する後ろ姿と、白衣に輪袈裟をかけ、頭には菅笠、金剛杖を持ち地下足袋に脚絆、手甲をして手には数珠を持って般若心経をと念える声とすき通るような鈴の音が今も記憶に新しい。幼な心であったが何時か私も訪ねてみたいと思い続けていた。

2000年4月29日その夢が実現することになった、40回目という先達の方のご案内で7日間かけ大阪から車をレンタル、鳴門海峡を渡って一番寺の靈山寺から八十八番寺の大窪寺で「結願、無心の7日間でした。

8月1日高野山、11月8日宝生寺、2001年4月18日弘法大師（空海）が中国に渡って修業した青龍寺に参拝した。永い間の思いが正に「結願、した時であった。さすがにいい気分であった。

2001年1月22日の朝日新聞でプロバスクラブのことを知った。早速生涯学習サロンに申し込み勉強させて頂いた。翌年会員にさせて頂き、71回目の例会から参加させて頂いている。会員番号も71番何かの縁かなと思っています。

早いもので 一年半を経過したが不勉強でまだお顔とお名前が殆ど判らないのが正直なところです。今回の投稿を通じて私の一端を申し上げる機会を頂き感謝しています。

◎連載

くらしの法律Q&A (10)

（貸金の催促）

成田 章

Q：友人に10万円を貸しましたが、利息や返済方法は何もきめませんでした。急にお金が必要になったのですが、直ぐ返してもらえるでしょうか。

A：友人との関係は、返済期限のない貸金契約ということになります。

あなたは、相当の期間（4～5日）おけばよいでしょう）を定めて、いつまでに返して欲しいと請求出来ます。利息は友人との契約が商人間の貸借ということであれば年6分の利息を請求できますが、そうでない限り、利息は取れません。しかし、遅延損害金は上記の期間の切れる翌日から年5分の割合で取ることが出来ます。

◎第87回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日時 平成15年1月9日（木）午後5時より

場所 富士森「海苑」

出席者 会員 53名

来賓 東京八王子南RCより2名

神山晴雄会長、中島郁夫幹事

1.会長挨拶

皆様と共に元気に新春を迎えることが出来まして、改めておめでとうと申し上げたいと思います。2003年初例会に、八王子南RCから神山会長・中島幹事のお二人にお出でを頂き、有難く思っております。年頭所感については、プロバスだよりに記載させて頂いたのでお読み頂き、今後共ご協力をお願いします。最近入手した情報によると、全国80余りのプロバスクラブの中で最大の組織力を有するのは我がクラブの由、ご同慶の至りである。クラブの発展と会員各位のご健康ご多幸を祈念する。

2.来賓挨拶（神山晴雄 東京八王子南RC会長）

私どもは当プロバスクラブの素晴らしい活動に大変注目している。先般、東京での会長会の折に、八王子プロバスクラブの活動の話題提供をしたが、何時もさわやかな素晴らしいクラブであると感じている。

どうかこの一年、皆様のご健康と更なるご活躍を期待申し上げ、共に素晴らしい年にしたい。

3.新入会員紹介

下田泰造（しもだ やすぞう）〈推薦者：大野聖二会員〉

昭和17年1月3日生 住所：〒193-0843 八王子市甘里町24-2 TEL.0426-67-1755

主な経歴：横河電機（株）関連会社生産技術部長 趣味：大道芸、園芸、水泳、会員番号：81

所属：研修委員会

入会挨拶の後、会長よりバッジが手渡された。

4.幹事報告（松尾幹事）

皆さんの元気なお顔と共に新年を迎え、まことに喜ばしい。特に懸案の事項もなく、サロンの準備も順調に進められている。本年もよろしくお願ひしたい。

5.委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

本日の例会日程は、配布したとおりで、例会第二部として新年宴会となる。なお新年会は米林副委員長が司会を担当するのでよろしくお願いする。

◎情報委員会（浅輪委員長）

①プロバスだより新年号は、表紙を初めてカラー刷りにしてみた。

②プロバスだよりに多くの会員から投稿を頂き、掲載している。それぞれに味わいもあり、紙面も賑やかになるので、編集担当としては大変有難い。未投稿の方を優先するのでお待ちしている。

③サロンの記録は情報委員が担当するが、委員会で話しあった。そこでお願ひであるが、用語やまとめ方の点もあるので、できれば各話し手のかたから内容の要旨等を記録者に連絡頂ければ大変有難い。

◎会員委員会（西志村委員長）

①本日、会員名簿を配布した。

②親睦旅行を計画している。研修委員会との連携も必要であり、7月までに実施したいと考えている。

◎研修委員会（塩沢委員長）

- ①お茶の同好会、現在11名の参加申出があり、いよいよ月一回の活動を始めることとなった。なお、希望の方はいつでもご参加頂きたい。
- ②次回2月例会での卓話は大高会員、次々回は北川会員の予定となっている。

◎地域奉仕委員会（浜野委員長）

- ①第7回生涯学習サロンについては2月から5月まで実施するが、全員の協働が必要だ。意思疎通を十分に図り、各委員会の分担事項については理解・協力を願って、成功裏に終了したいと考えている。
- ②市や教育委員会等の後援も得たので、カリキュラムと日程を印刷し、1月6日にはリピーター宛にサロン案内状を送付した。すでに19件の申し込みが来ている。
- ③会員のサロン希望テーマ調査票は、本日までに提出願いたい。
- ④会員のサロン登録料は2月例会に集金を行う。

6. その他

- 第5回プロバスクラブゴルフコンペ開催（4月17日、津久井湖CC）の案内（ゴルフ部 橋本義和幹事）
- 第4回市民講座「中・高齢者の食生活と生活習慣病—健康長寿を目指して—」の案内（長町幸雄会員）

7. プロバス讃歌斉唱

8. 閉会挨拶（立川副会長）

平成15年の初例会に、大勢の皆様の出席で、大変嬉しく思いました。

今年の干支は未だが、ひつじはとて も人間に貢献している動物だ。織物や肉ばかりでなく、ヴァイオリンの弦に、テニスのラケットに、書の毛 筆は高品質と、その効用は幅広い。またひつじは暖かい・優しいイメージがある。

暖かく優しい仲間づくりを、この一年頑張らしましょう。

◎2003年 新年懇親会（司会進行 米林伸恭例会委員会副委員長）

1. 開会 石井会長の挨拶により賑やかに開会
 2. 乾杯 松尾幹事の発声により楽しく乾杯
 3. 余興 下田会員により南京玉すだれを披露
 4. 懇親 ビンゴゲームで全員に賞品が当たり、カラオケでのどを競い、また和やかに歓談した。
 5. 閉会 立川副会長の挨拶により余韻をのこしつつ散会
- 帰りには、RC神山会長のご好意で調達出来たワインが、お土産として全員にプレゼントされた。

◎同好会短信 プロバス囲碁会の活動

一年前より、毎月1回囲碁の会を開いています。

初心者から、ベテランまで、皆が楽しめるよう、棋力に応じたハンデキャップ点数制を設け、勝てば上がり、負ければ下がるやり方で、適度に刺激を受け、囲碁を楽しんでいます。現在、最も注力しているのは、「自ら初心者と自認されている方々がいかに楽しめるか」です。

囲碁はボケ防止に良いと言われています。俺はボケないからと言わず、ぜひご参加下さい。

日時：第4木曜日（生涯学習サロンのある2・3・4・5月は第3木曜日）

午後1時から5時まで

場所：台町市民センター

会費：月500円

（幹事 吉田信夫）

大山 泰

大晦日から元日の朝にかけて、各地から集まって中央高速の料金所を突破して富士山方面に向かう暴走族を取り締まる警察との様子をテレビニュースで見たことがある。恒例のように毎年繰り返されるらしい。

11月末頃だったかNHKの「クローズアップ現代」で広島県の暴走族の取り締まりについて取り上げていたことがあった。ご覧になった方もあると思う。

傍若無人の暴走行為に、一般住民からは取り締まりの要請が絶えずあり、警察も取り締まりを繰り返してきたが実効のある取り締まりができないままである。警察としては、何とかリーダーを検挙したい。最後の手段としては、リーダーの四輪車をパトカーで包囲しパトカーを打ち当てるしかないと考えた。

暴走行為の連絡が入った警察は計画を実行に移し、リーダーの検挙に成功した。思いも懸けない警察の行動と、リーダーを失った暴走族は、その後のパトロールの強化とも相俟って、暴走行為も影を潜めると同時に、街中での集会もなくなったという。取り調べを受けた17才のリーダーは、暴走に走った理由の中で、若い力をスポーツなどもっと有益なことに向けると言われるが、そんな場所はない。家に帰れと言われても様々な理由で自分の居場所がないとも述べていた。

暴走族に代表されるように、20歳前後の若者が関わる不法行為や非行など、マスメディアを通して連日のように目や耳にしていると、極一部の若者の行為であることを承知しながらも、現在の若者像のようなイメージが出来てしまい、街中に見掛ける若者達の行動をそんな目で見ても勝手な解釈をしてしまいがちになる。現職中に若者達との直接的な関わりが殆ど無かったためかもしれない。定年後、「八王子青年の家」で囑託をしたが、青年の家は、利用団体が独自の計画で活動をするので、職員が活動に加わったりすることはない。ただ、年に数回青年の家が実施する主催行事には、若者達をボランティアとして募集する。都の広報紙や、ラジオの都民ニュース等を通しての募集だから応募者があるのだろうかと思いましたが、その都度ほぼ必要数の応募があったのには驚いた。見かけは茶髪だったり、現代風なラフな服装等をしている者もあったが、見かけや応募の動機などに関わらず、活動は積極的だし、真剣に取り組むし、職員のお手伝いなどという気

分の者はいない様に見受けられた。小学生を対象にした「野外活動」では、互いに初対面の小学生と寝食を共にしながら汗水たらして面倒を見たり、身障者を対象にした活動では、車椅子や食事の介護など不慣れなことにも体ごとぶつかって行く姿勢など、直接関わってみる若者は、見かけに関係なく悪い若者像を払拭してくれた。短期間ではあるが活動を通して充実感を感じるのだろう、また、新しい仲間も作れたのだろう、時間や仕事の都合がつけば、殆どの人が次回の募集には応募してきたようだった。青年の家は主催事業を通して、青少年のボランティアを養成したりその過程で青少年の健全な仲間作りの場としても一役買っていたようだ。

昭和30年代、当時全都に普及しつつあった週休・一斉休業制により、勤労青少年の余暇利用の必要性から青少年の健全育成の場として昭和34年「東京都青年の家」が八王子に設置されたのが始まりで、その後「八王子青年の家」と改称された。最終的には多摩地区を含め7所設置された。設置の趣旨が勤労青少年の少人数の団体が、日帰り若しくは宿泊を伴っての活動の場として、安価で気軽に利用できる施設ということであったから、宿泊施設はもとより活動に必要なと思われる設備は一応整えられている。設置当初は勤労青少年団体の利用が多かったので十分に対処できていたが、利用団体が多様化してきた上に、活動内容も変化してきた施設も次第に老朽化が進んでくるので、都としては時代の変化に対応できるように、7所を統廃合して大きな施設を作る「ユースプラザ構想」を打ち出してきたが、都の財政事情も苦しくなってきた時期と重なったため、7所を順次廃止することだけが平成6年頃に決定された。八王子も平成13年度で廃止され、現在は2所を残すのみとなった。それも平成16年度に区部を、17年度に府中も廃止されることになり、既存の青年の家は完全になくなる。「ユースプラザ構想」の設置場所については、2年ほど前の新聞に統廃合により廃校になる八王子市内の都立高校の跡地をそれに当てるといった記事が載っていた。もし新聞記事のようになるなら、若者達の活動の場として十分に応え得る施設が造れると考えられる。青年の家は単なる宿泊施設ではないので、施設ではないので、利用団体の活動の場を確保しなければならない。しかし今までのような小規模施設では、活動場所に限りがあるため、宿泊人員には

余裕があっても利用を断らなければならないこともあったし、スポーツのサークルなども遊び程度の施設しかないので本格的な活動には向かない。音楽関係でもロック系の活動は、宅地開発の波が押し寄せ施設に隣接してきたため断らざるを得なかった。利用団体とりわけ青少年団体の活動に十分応えられなくなってきていたのが現状だ。

先日、新聞の多摩版に中学時代、学校でも近隣からも手の着けようが無いと評判の元悪ガキ7人組が、養護施設児童支援のためチャリティーコンサートを開いたという記事が出ていた。3年生の時ギターに興味を持った7人組のため、生活指導主任が、中学校に練習の場を配慮してくれた。その後、熱心に練習に励みロックバンドを編成してのことらしい。

スポーツにしても、ロックにしても、また、ボランティアの養成にしても、若い力を思い切り発散できる場の必要性を痛感する。「ユースプラザ構想」というのが実現すれば、正に若者達に、気軽に利用できる場を提供することが出来るはずだ。不十分ながらも活動の場を提供して来た既存の施設を廃止してきた今、都財政の悪化を理由に青少年の健全育成の場の一つとなる「ユースプラザ構想」までが廃止されることのないよう真剣に考えるべき時だと思う。

～落書帳～

健康増進旅行というキャッチフレーズに惹かれて行ってみた。信州鹿教湯2泊でウォーキング・温水プール体操・クアハウス入浴・健康診断など盛りだくさん、なにか元気になったような気がした。京王線でも中高年ウォーカーをよく見かけるが、やはり健康には誰も相当な関心を持ち、また常にその努力を怠らないことであると思った。 〈Z〉

【お願い】

例会欠席のご連絡は、お早めに直接下記に連絡先

- ◇ 例会委員長 橋本義和 TEL/FAX 63 - 8845
- ◇ 副委員長 米林伸恭 TEL/FAX 25 - 3149

◎連載 くらしの法律Q&A(11) (身元保証人の責任)

成田 章

Q: 5年前に友人に頼まれて息子さんAが就職刷るときに身元保証人になりました。保証期間は決まっていなかったと思います。

保証人になったことも忘れていましたが、先日、半年前にAが会社の金を使い込みをしたとかで会社から金100万円の損害賠償請求がきました。支払わなければならないのでしょうか。

A: 身元保証というのは、被保証人が会社に損害を与えた場合に、その損害賠償義務を保証するためのものですから本件の場合が典型的な例といえます。

しかし、身元保証人に長期間責任をおわすことは酷です。そこで、「身元保証ニ関スル法律」は、期間を定められないものについては、その保証期間は3年に限られるとしていますし、5年以上の保証期間を定めている場合には、5年に短縮すると定めています。

したがって、本件の場合、保証期間を決めていないのですから、その保証期間は3年であり、責任を負う必要はないということになります。

なお、次の事情があるときは、会社は遅滞なく保証人に通知しなければならないことになっており、この場合、身元保証人は将来に向かって契約を解除することができることになっています。

- 本人が業務上不適任、勤務上不誠実なことがあり、身元保証人に責任の生ずるおそれがあること。
- 本人に任地、任務の変更があり、身元保証人の責任が重くなったり、監督が困難になったとき。

◎新年会 富士森会館「海苑」にて



◎第88回例会報告 (司会 橋本例会委員長)

日 時 平成15年2月13日(木) 午後0時30分より

場 所 八王子エルシィ 4階

出席者 会 員 57名

来 賓 東京八王子RCより2名

重久三行副会長、土屋隆世界社会奉仕委員長

1.会長挨拶

本日は参加者が多い上に、八王子RCから来賓として2名のご出席をいただき、盛会を期待しています。

最近、各地のRCでは不況の影響もあってか、会員の増減が問題となっており種々論議がなされているようです。近く日銀総裁の交替も予定され、金融政策の処方箋について、いろいろ意見もかまびすしく、大変難しい経済状況下であり、経済の行方が心配されるところだ。

いよいよ今月から、学習サロンも始まる。全員の協力のもとに立派にやり遂げて頂きたい。

2.来賓挨拶(重久三行 東京八王子RC副会長)

皆様の中にもRC経験者がおられると思うが、ご存知のとおり、RCはアメリカで始められて100年を経過している。100年もたちますと淀みも生じてくるわけで、世界的にみて、そのあり方は転換期にあると思われる。

私は7年の経験を有しますが、日常活動を通じて、停滞感を感じざるを得ない。

最近、プロバスクラブの活動を知り、是非一度その実際を拝見したいと存じ、本日伺った次第である。これを機会に今後も参加させていただき、いろいろご教示をいただきたい。

3.幹事報告(松尾幹事)

過日ロータリークラブの大きな集まりがあり、会長と私が出席をしたが、その会で八王子南RCの神山会長が当クラブの紹介をして下さったので、その後各地でもプロバスクラブを作りたいという話も出てきた。

各地にプロバスクラブができれば、連携してプロバスクラブの活動を発展させたい。

4.委員会報告

◎例会委員会(橋本委員長)

1月例会・新年懇親会を予算の範囲内で盛会裡に終えたことを報告すると共に、ご協力を感謝したい。

毎度申し上げるが、欠席通知は当日午前10時までに必ず私：橋本まで連絡願いたい。

◎情報委員会(浅輪委員長)

会員の情報共有の観点から会報を作成している。今後も協力をお願いする。

◎会員委員会(西志村委員長)

かねて当委員会で立案中だったバス旅行について、理事会の承認を得たので案内を配布した。奮って参加されたい。

◎研修委員会(塩沢委員長)

前号で報告のとおり、お茶の会を立ち上げた。世話人は近藤会員にお願いした。

◎地域奉仕委員会(浜野委員長)

2月12日で学習サロンの応募を締め切った。現在、応募者数69名であり、大体目標は達成した。このうちリピーターは59名である。

話をする人には、個別に当日準備して欲しいものについて書面を送付した。開講日までに提出願いたい。

5.卓話 大高秀夫会員

最近、身内の法事で、大変興味深い法話を聞きましたので、その話をしたいと思います。

この頃は不条理なことが多すぎるということをよく聞く。何も悪いことをしていないのに次々と不幸に見舞われる人がいる。これは先祖の霊業がからんでいるのだという。

肉体はせいぜい生きて100年だが、靈魂は無敵だ。先祖というのは、25代遡ると、その数は3,000万を超えるという。したがって、先祖がどういう生き方をしたかを知ることは不可能である。この先祖の業が現在振りかかっているのだそう。だから、この悪業を免れるためには、日々善行を積む以外ないのだ。

現在の人間は、便利さを追求した結果、自然を破壊し、動植物は絶滅の危機にむかっている。物質文明は進んできたが、心の問題が何処かに行ってしまった結果である。

最近、陰陽道とか除霊のことがよく話題にされるが、これは先祖の業が意識されるようになったからだ。

高田好胤も今の日本は物で栄え、心で亡ぶと書いているし、瀬戸内寂聴は、和顔施ということを言われ、不平不満を言えばそれが我が身に返ってくると説いている。

朝、元気で起きるということは決して当たり前のことではなく、有り難いこととも考えられ、これが有難うという感謝につながっていくのだ。

有名な90才の日野原医師は、自分は人のために3割の時間を使っているので極楽に行けると言うと言っている。

私は、とても3割の時間を奉仕のために使うことはできないが、少なくとも人に迷惑をかけないように生きていきたいと思っている。

6.懇談

今月は、旅行などのテーマで各テーブル毎に会員委員の説明、例会委員の司会で、サロン風に話し合った。

7.プロバス讃歌斉唱

8.閉会挨拶（立川副会長）

先日、テレビでバグダッドの姿が紹介されていた。戦争になれば悲惨な目に会うのは一般市民であり、平和的解決を願うばかりである。

サロンが始まります。全員協力して大成功を期しましょう。風邪にご注意を！。

◎投稿 横町の話

石井 充

を閉じて、横丁に隠れ住むのである。`ゴブサタ横丁、に居を移せば債権者も、もうしつこく追わず、立ち直りを待ったという。半分嘘と冗談が混ざっていても、のどかな時代である。

私の原籍地は、八王子市八日町1丁目1番地で、現在の通称`みずき通り、の西側に当たる。戦前の八王子の街路は、今と違って20号のメインストリー以外、は殆ど歩道というものがなかったから、万事がちまちまとして、横丁と、路地だらけであった。

主なものだけでも、本郷横丁、梅原横丁、小谷横丁（これが現在のみずき通り）とあるが、横丁の名がそのまま町会の名になった大横町、現今では表現に問題もあろうと思われる`按摩横丁、`ゴブサタ横丁、などもあり、面白いと言えば面白い。鉄砲横丁というものもあったと聞く。`按摩横丁、の方は文字通りで解りよいが、`ゴブサタ横丁、の方は多少の説明がいるだろう。商売には浮き沈みは常で、借金がかさむと、店

さて、私の方の`みずき通り、であるが、この1月最長老のN氏が逝かれた。98才であったという。夫人も健在で97才、合わせて195才。驚くべき事である。戦中・戦後を通じて、ハイカラな自転車屋というご商売で、併せて煙草を商っていた。当時自転車屋というものは、大変な店数の多い流行の稼業で、この横町だけで2軒あったものである。煙草は昔も今も専売であるから、仕入れに然るべき恒産も必要である。自転車屋というのは、当今と違い新車を売るばかりでなく、中古車を売り、パンクを直す。道路は、ふつうゴロゴロの砂利道であるから、自転車はやたらとパンクする。

パンク直しを主業とする自転車屋もあるほどである。子供は馬鹿にしてこれをチンチン屋と言う。中国を旅すると、その自転車の数の多さに驚くが、中国の自転車屋はやはり、横丁と、路地裏にあるのだろうか。中国では面白がって二人乗りの輪タクにも乗ったが・・。

話は輪タクではなく、昔の日本の人力車に飛ぶ。私は人生で、一度だけ二人乗りの人力車に乗った事がある。何と伝染病院（当時避病院と言った）の担送車である。横幅の広い、真っ黒な幌のついた車であるが、それに乗って運ばれば、おおかた帰還は覚つかないのである。避病院は現在の富士森公園南側の野球場付近にあったが、私は猩紅熱、ジフテリアと二度お世話になった。一方、内科・小児科の開業医は邸内に専属の車夫を置き、往診には、家紋の付いた人力車を使った。つまりは一種のステイタス・シンボルである。診療費は高額であったから、どこの家も滅多な事では医者にかからなかった。お医者様の人力車が、家の前に止まれば、横丁の大事件である。事実子供は、よく死んだ。抗生物質のない時代である。大腸カタル・赤痢・疫痢・肺炎、さらに結核。

1945年8月2日の曉に、八王子の街はB29の襲撃によって焼亡した。追分町のY字型の三叉路に立つと（当時バイパスはない）八王子の駅まで、見通しである。綺麗さっぱり何もなくなったが、土蔵の焼け残ったのが多いのには驚いた。

あとは、お稲荷さんの基壇である。お稲荷さんは今でも、午祭りには、子供の「菓子貰い」が盛んであるが、戦前とは桁違いの淋しさである。戦前は、どの横丁にも路地にもお稲荷さんはあった。空襲で社も鳥居も焼け落ちたが、堅固な基壇だけは残ったのである。満目瓦礫の中で不思議な風景である。稲荷社は商売繁盛の神であるし、今も余裕のある家は邸内に社を持つものも多かろう。昭和30年台までは八王子に豊川稲荷講もあり、団体講中列車もあったのだ。私が、かの猩紅熱にかかったのも、横丁の稲荷の俄（ニワカ）を見物中の初午の日のことで、急に高熱を発したと聞いている。「お稲荷さんをご利益も厚いが、時によって悪戯（ワルサ）を好まれるので困る」と古老は言われる。世に「お伺い」（オウカガイ）という営業もあるようだが、失せ物、人事、病患等の「伺い」について、先方からは規を一にして、住居の近所に放棄されたる稲荷社、と空井戸についての質問があると言う。八王子

子の旧市街区の稲荷信仰の広がり、地下水の豊富さを物語っている。戦後林立のビル街は、地下街を保有するので、街の伏流水も阻害され、伏流水の流れは大いに変わった。一メートルも吹き上げていた子安神社（大明神）の噴水も今は面影を残さない。市中の井戸も涸れたのである。潰れた井戸は数多い。

終わりに、葬儀のことを書く。私の知る限り、横丁最大の葬儀は、薪炭商K氏の長男Oさんのものである。Oさんは昭和11年の壮丁、入営直後の2・26事件で、連隊ごと懲罰の満州送りとなる。日中戦争直前の満州である。匪賊討伐（というものがあつた）で、あつと言う間もない名誉の戦死である。1936年の戦死はすこぶる早い。八王子市葬第1号である。花輪は横丁を蔽った。横丁の奥が花輪で見通せない。私は金鷄勲章を初めて拝見した。初年兵の事とて功七級の銀である。大層な弔慰金だと言う。ご両親は開設されたばかりの市営墓地にその金で大きな墓を建てた。この墓は現存する。正面の入り口から30メートルもない、良い場所である。然し訪れても、誰も参詣掃苔の形跡がない。Oさんの家は絶えたのかも知れない。勇戦の記は某中隊長筆で石に刻まれているが、もはや読めぬほど薄い。

とりとめもなく、恥じ入るばかりだが横丁の話は一段落とする。あとは路地の話だが、これ又錯綜し、貧民窟と、待合と、妾宅の話で、どう始まりどう終わるか心許ない。又の機会を待つこととする。

◎連載 暮らしの法律Q&A(12) (レストランからの持ち帰り)

成田 章

- Q：レストランで食事をしましたが、沢山残ってしまいました。そこで、残り物を持って帰りたと言ったのですが、断られてしまいました。残ったものは自分のものと思いますので、断るのはおかしいと思います。持ち帰ることは、出来ないでしょうか。
- A： レストランでの飲食の法律関係は、客と店の間でなされる飲食物及びこれに関連するサービスの提供を内容とする契約と解されており、飲食物の売買とはされていないようです。したがって、残り物の所有権はレストランにあり、持ち帰りを断ることは自由ということになります。法律論は別として、レストランは、中毒等の事故発生を恐れて断っていることが多いのでは無いでしょうか。

◎随想 俺はまだ若いんだ！

岡田 尚

プロバス年齢を過ぎてから、さて今からの余生をどう過ごそうかと考えた。一番良いのは自分の好きなことをして遊んで暮らしたい、でも毎日何をして遊ぼうかな？。金もないし、これといった趣味も無い俺は一週間も保たないだろう。多分一日中ゴロゴロしていて、粗大ゴミとして嫌われるのが落ちというもの。それでは世のため、人のため、何か役立つ事を、なんて格好の良いこと言っちゃって、所詮長続き出来っこない。残念だが矢張り俺は死ぬまで働くしか能がないのか。

何か面白そうな仕事はないものかと思っているとき、新聞の折り込み広告で「PRニュース」というチラシが入ってきた。B4判で何軒かの広告を掲載して定期的に発行するチラシである。小さな商店を対象に、安い価格でやれば、案外喜ばれ面白いかも知れないと考えた。

それでは、どの地域を対象に、月に何回発行するか、何部必要で経費はいくらかかるか、原稿（版下）制作は、印刷は、いくら儲かるか？など次第に本格的になってきた。印刷はどこかに頼むにしても、版下ぐらいは自分で製作しないと経費がかかり過ぎ安く出来ない。コンピューターは難しそうだがワープロならなんとかなるだろうと、すぐヨドバシカメラに直行、カシオのワープロを購入、説明書と首つきりで練習、1週間ほど何とか文字だけは打てるようになった。印刷は桂さんの経営する造形美術印刷にお願いすることとし、タイトルは「ショッピングニュース」、B4版で西八を中心に2万部を月2回発行と決めた。

ここまでは、頭で考えるだけなので、誰でも簡単に出来るが、紙面を埋めるためには、広告を出してくれる店や会社を毎回10～15件獲得する事が必要だ。そこで第1号チラシ発行を1ヶ月先と決め顧客獲得の行動を開始した。どんなチラシが出来るのか、見本が無いのでお客に解ってもらうのには一苦労したが、何とか順調？に1号紙、2号紙と発行を続ける事が出来た。休まずに続けるのは結構しんどかったが、一年程は夢中でやってきた。でも次第に広告の作り方に不満を感じる様になったり、又経費の面でも印刷は自分でやらなければと考えるようになり、そこでリコーの印刷機を買ってしまった。印刷機を買ったら、このチラシだけの印刷では勿体ない、ということで「コピーより安く速い印刷」という広告をこのチラシでPRし始めた。ところが、以外にも簡単に、いろいろな注文が

入るようになり、ニュース紙の発行と一般の印刷がダブルで発行締切日近くなると、仕事量が厳しくなり始めた。そんなとき、名古屋にいる家内の父危篤の報があり、初めてショッピングニュースを休刊せざるを得ない事態となった。

おかしなもので、今まで張りつめて休まず発行してきたのに一度の休刊で気がゆるんでしまった。ショッピングニュースを発行するよりも、あまり努力をしなくてもお客さんの方から持って来てくれる印刷の方が楽だ（この年になって、そんなに苦労までしなくてもと自分自身を納得させて）と考える様になってしまった。ところが苦労しなくても簡単に出来ると思っていた印刷が、その奥の深いこと、種類の多いことに驚くばかり、あれも欲しい、これも欲しいと、ついにオフセット印刷機まで揃え、いよいよ印刷屋になってしまった。

そうなるとワープロでは限界を感じるようになりMacのコンピューターを入れることにした。仕事をしているとコンピューター教室に通う時間がとれないため、いろいろな説明書を買ってきては読んではいるが、難しく理解できず、何でもっと易しく書いてくれないんだとぼやきながら、又違う説明書を買ってきては、書棚をにぎわしている始末である。

最近では特にお客さんの方がコンピューターに詳しくなって、原稿をメールで送るからとか、データで持ち込んでもいいとか、あーだこーだと難しいことを言うてくる。今までは年寄りには解らん、と断ってきたが、最近ではそんなことではもう済まなくなってきた、困ったものである。そしてやっとコンピューター教室に行こうと決断したのに、2～3回通っただけで運悪くその教室は閉店してしまい、又独学？する羽目になってしまった。

はじめてのIllustrator8.0とかPhotoshopウラ技テクニック、PageMaker入門、だれでも解るイラストレーターなるビデオなど教材だけには不足はない、ただ頭がついていかないだけである。誰か優しく手を取って教えてくれる可愛い人でもいないかな？。

私の隣で毎日コンピューターに向かって頑張っている86歳になろうという桂さんを見習って、俺は未だ20才も若いんだ、頑張らなくっちゃーと思う毎日である。



◎第89回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日 時 平成15年3月13日（木）午後0時00分より

場 所 八王子エルシィ 4階

出席者 会 員 54名

1.会長挨拶

今年の冬は寒かったが、庭の木瓜の蕾も膨らんで春も近づいた。しかし、世の中は混沌として人間の生き方、考え方にも寂しいものが感じられる。

こうした中、「とんとんむかしばなし」を皮切りに、先々週から第7回生涯学習サロンが始まった。学習サロンは我がプロバスクラブの大事業である。はじめからこの事業に取り組み、今回で7回目になるが、これだけ一つの事業を継続しているクラブは他に類を見ない、過去2回ほど、不慮の出来事で講座の中止や担当者の変更があった。今年はそのようなことのないよう、また参加者全員に満足してもらえるように最後まで協力をお願いする。

2.幹事報告（松尾幹事）

①理事会で総会の日程を6月12日（木）に決定した。詳細は担当委員会より説明がある。

②各委員会で意欲的に事業を計画している。それぞれの事業が成功するよう協力をお願いしたい。

3.委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

①今後のサロンと例会の出欠を確認した。なお、例会の欠席については直前でもよいから、連絡をお願いする。

②総会日時 6月12日（木）5時～6時、総会終了後6時～8時まで懇親会。

場所 ホテル八王子ニューグランド。

なお、総会の詳細については次回報告する。

③次回の例会（4月10日）もサロンと同時開催のため、開催時間が12時になるので間違いのないようお願いしたい。

◎情報委員会（浅輪委員長）

①積極的な投稿をお願いする。

②サロンの話し手の方は、話の骨子を情報委員会の記録担当者まで提出するようお願いする。また、記録担当者がまとめた原稿の校正をお願いしたい。

◎会員委員会（西志村委員長）

親睦の一泊旅行の出欠の届けを本日中をお願いしたい。現在の参加者は26名。

◎研修委員会（塩沢委員長）

①サロン開催中のため、今月と来月の卓話は中止する。

②お茶の会を3月7日に行い、参加者は9名であった。さらに多くの方の参加を希望する。

◎地域奉仕委員会（浜野委員長）

①サロンの最終登録人数は、会員61名、一般70名と目標を達成した。

②開講式の出席者は来賓4名、会員47名（出席率94%）、一般50名（出席率83%）。全体では97名（出席率88%）であった。

③サロンの欠席については、前日の午前中までに佐々木委員まで連絡をお願いしたい。

④野外サロンの案内と申込書を本日配布した。受付を担当する会員委員会と例会委員会の方、申し込みの受付等お願いしたい。なお、参加費は次回（3月27日）に徴収する。

4. その他

ゴルフ同好会より、4月17日のコンペは5組で決定した。

5. 懇談

今回はサロンと同時開催のため、食卓を各委員会ごとにまとめて、連絡事項の伝達と簡単な打ち合わせを食事をしながら行った。

6. プロバス讃歌斉唱

7. 閉会挨拶（立川副会長）

過日、エコロジー、地球環境問題で活躍されている村内電気の会長と話す機会があった。生ゴミの処理やエコカーなどの話を聞き、一人一人が地球を考えて行動することが如何に重要であるかを痛感した。サロンも順調にスタートした。良かったといえるサロンになるよう、閉講式まで全員で協力し合って行きたい。

◎第7回生涯学習サロン開催状況（開講式から第2週まで）会場：八王子エルシィ

○開講式 2月27日（木）13：30～

○特別講話 「八王子のとんとんむかしばなし」

講師 菊池ただし氏（桑都民族の会・とんとんむかしの会・日本民族学会・高尾山語り部の会）

○サロン第1週 3月13日（木）14：00～（テーマ及び話をする人は次のとおり）

- | | |
|--------------------------|--------|
| A「医者と患者の関係を良くする為の心構え」 | 長町幸雄会員 |
| B「日本武尊は八王子を通過したか」 | 大野聖二会員 |
| C「中国革命の成否を決めた『西安事変と張学良』」 | 渋谷文雄会員 |
| D「光の小道具と江戸の文化・産業・科学」 | 永井昌平会員 |

○サロン第2週 3月27日（木）14：00～

- | | |
|---------------------------|--------|
| A「日本を生きたモラエスの生涯」 | 梅木松助会員 |
| B「くらしの法律よもやま話」 | 成田 章会員 |
| C「幕末、維新の多摩―八王子千人同心の活躍と解体」 | 野口正久会員 |
| D「世界の歌めぐり、音楽めぐり」 | 五十嵐淳会員 |



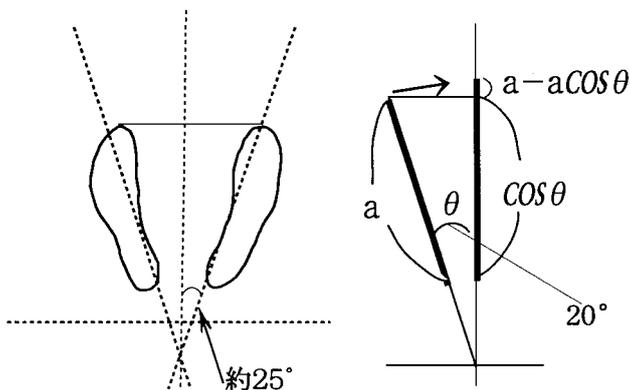
↑開講式

↓八王子とんとんむかしばなし
菊池ただし氏



川津 鐵禮

＊皆さんが歩くとき、やや外またに歩くクセのある方はいませんか？



図のように靴の長さを a cm、足の開きの角を進行方向に対して θ° だけ外向きだと考えると一步につき、 $a - a\cos\theta$ だけ一步の進む長さが短くなります。

例えば靴のサイズを26cm、外向きの角度を 20° とすると $26 - 26 \times \cos 20^\circ = 26 - 26 \times 0.94 \approx 1.6$ で、足を真直ぐに踏み出す人に比べて一步につき1.6cmずつ損します。時足4kmで歩くとき、100m進むのに、1.5分かかります。個人差はありますが、だいたい100m歩くのに130歩位かかります。したがって1分間歩くと約87歩を要するので、 $1.6\text{cm} \times 87 \approx 140\text{cm}$ で、1分間歩くと約1m40cmの差がつきます。1時間歩くと、84mの差がつきます。私は学生時代に意識して歩き、ほぼ矯正することができましたが、その代償として靴のかかとの外側が減り易くなります。

ちなみに、女性の足を美しく見せるには、やや外また気味の方が写真に撮るときにはいいようです。
＊最近消費税の関係で、一円玉が不足したり、たまり過ぎて困ることはありませんか。

私は、登山や野外活動をしていた関係で、常時10枚の一円玉を持ち歩いています。ヒマラヤに行った時は大変役に立ちました。

一円玉の直径は2cm、厚さは1.5mm、重さはちょうど1gです。野外で物量を計るときに大変便利です。
＊100枚の紙幣の厚さは約9mmといわれていますから100万円が9mmです。最近某銀行が1兆円の増資の募集をしましたが、一口に1兆円といいますが、それを1万円紙幣でどの位になるでしょうか、

1兆円=1,000,000,000,000円=1,000,000×100万円
したがって1万円紙幣を積み上げると9,000,000mm、
9,000,000mm=9,000mですから世界の最高峰チョモランマ8,848mよりも高くなります。富士山の高さは3,776mですから、富士山の高さの約2.38倍になります。一兆円を全部1円玉にすると1兆枚ですから、重さは1兆gです。

$1,000,000,000,000\text{g} = 1,000,000,000\text{kg} = 1,000,000\text{t}$
ですから重さは100万トンになります。1兆円の一円玉を平に1列に並べると、 $2\text{cm} \times 1,000,000,000,000 = 2,000,000,000,000 = 20,000,000,000\text{m} = 20,000,000\text{km} = 2,000\text{万km}$ になります。地球の赤道の長さは約4万kmですから、1兆円の一円玉を平らに1列に並べると、地球を500周することになります。私がもし1兆円あったら全部一円玉にして家の庭（もっとも私の家の庭には無理ですが）に積みあげて、欲しければ自由にお持ち下さいと云ってみたいところです。

＊ある会社の入社試験の面接で、「あなたは月給どのくらい欲しいですか」と聞かれました。私はこう答えました「最初の月は1円で結構です。ただし次の月は2倍の2円と毎月2倍のアップをお願いします。」と答えました。社長は「いいだろう。」とってくれました。

さて、これからの月収はどうなるでしょう。
入社時の4月は1円です。これから1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256, 512, 1024, 2048, 2048円が1年目の終わりの3月の給与です。
2年目の4月は4096円で次から8192, 16384, 32768, 65536, 131072, 262144, 524288, 1048576, 2097152, 4194304, 8388608.
で2年目の3月には800万円の給与をもらいます。3年目の終わりの3月には約340億円もらうことになります。
もっとも、その前に首になるでしょうけれど。
「数の魔術とは面白いものです。」

【落書帳】

二月末の日曜日、甲州街道で行われた全関東八王子「夢街道」駅伝競走大会を眺めた。なかなか走者も多く各所で熱戦を展開していたようだが、このような大会にしては、天候のためか観客が少ない感じがした。
市の広報で案内を見たような気がするが、甲州街道の交通を一時止めて実施する「大会」である。せつかく八王子で行う駅伝だ、箱根駅伝に負けないほどの観客が欲しいと思うのは、自分ひとりではないだろう。

◎投稿 干支について

加藤 寛

過日卓話で篆刻についてお話をしましたが、篆刻では書画の落款のように印にも作者の落款を刻します。多くの場合が印の側面に刻しますのでこれを側款と呼んでいます。

側款には作者名(号等)はもちろんですが、そのほか刻した年月日、場所等を記します。年月日などを記入する場合それを直書き(例えば 西暦 平成 何年)せずに干支や月日などをその異名で刻し、風流とか全体の調和を求めることが多くあります。

そこで干支について簡単にふれてみたいと思います。干支は十干と十二支からなり干は「幹」支は「枝」の字の一部をとり、木の幹と枝にたとえたものと言われ、わが国では「えと」と呼ばれています。干支は十干と十二支を組み合わせて年を表したもので、10と12の最小公倍数60即ち60年で一巡することになります。

十干と十二支に深い関係のある五行説とは古代中国人に大きな影響を及ぼした思想で、天地自然と人間社会のすべてが五行の生長、消滅に起因すると云う考え方で、方位、季節、色との関連についても大変興味深いものがあります。十干、十二支について別表に示しましたのでご参考になれば幸いです。

ちなみに

今年2003年は「癸未」キビ(みずのとひつじ)

来年2004年は「甲申」コウシン(きのえさる)

と云うことになります。年賀状等の年号に干支を使われたら如何でしょうか……

五行	十干	方位	季節	色	十二支
木	(兄) きのえ 甲コウ	東	春	青	ね 子 シ
	(弟) きのと 乙オツ				うし 丑 チュウ
火	(兄) ひのえ 丙ヘイ	南	夏	赤	とら 寅 イン
	(弟) ひのと 丁テイ				う 卯 ボウ
土	(兄) つちのえ 戊ゴ	中宮		黄	たつ 辰 シン
	(弟) つちのと 己キ				み 巳 シ
金	(兄) かのえ 庚コウ	西	秋	白	うま 午 ゴ
	(弟) かのと 辛シン				ひつじ 未 ビ
水	(兄) みずのえ 壬シン	北	冬	黒	さる 申 シン
	(弟) みずのと 癸キ				とり 酉 ユウ
					いぬ 戌 ジュツ
					い 亥 ガイ

◎連載 ぐらしの法律Q&A(13)
(お嫁さんの相続)

成田 章

Q: 私は亡くなった長男の嫁に手伝ってもらい、妻と和菓子屋を経営しています。

長男には子はいませんでした。私が亡くなったとき、嫁には相続権がないと聞きましたが、私としては、よく尽くしてくれる嫁に何とか相当の財産を残してやりたいと思っているのですが、どうしたら、いいでしょうか。なお、子供は長男だけです。

A: あなたが亡くなった場合、長男に子がいまないと妻とあなたの両親、両親が死亡していれば、妻とあなたの兄弟姉妹が相続することになります。お嫁さんには全く相続権はありません。

そこで、お嫁さんに財産を残す方法ですが、一番確実な方法は、奥さんの同意が必要ですが、あなたの養子にしてしまうことです。養子になれば、実子と同一の相続権を持ち、妻と嫁さんが相続することになります。

次の方法は遺言書を作成してお嫁さんに相当の財産を残してあげることですが、この場合は、後で紛争が起らないように他の相続人の遺留分を侵害しないように注意が必要です。

◎野外サロンの案内とお知らせ(地域奉仕委員会)

5月8日(木)には野外サロンを行います。当日の見学箇所は次のとおりです。

①東京都薬用植物園 昭和21年の設立以来、薬務行政のひとつとして、薬用植物を収集、栽培している。また、試験研究や生薬の品質検査なども行っている。

②江戸東京たてもの園 文化的価値の高い建造物を移築・復元している。展示建物の中には、八王子千人同心組頭の家や高橋是清邸などがあり、歴史と文化を伝えている。

③サントリー武蔵野ビール工場 サントリー最初のビール工場で、専門のスタッフの案内で見学等をする。

☆集合場所: 八王子駅南口たましん前

午前8時30分(帰着は午後5時30分頃)

◎第90回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日 時 平成15年4月10日（木）午後0時00分より

場 所 八王子エルシィ 4階

出席者 会 員 51名

来 賓 多摩RCより3名

小西弘純パスト会長、岡野一馬創立35周年記念事業実行委員長、村上義教会員

1.会長挨拶

桜の花も盛りを過ぎ、ここへ来る途中浅川の堤でシャガの花を見た。元八王子の二分方ではゼンマイが採り頃とか、春爛漫の季節となった。

本日は多摩RCから幹部の方、3名が出席されている。多摩市でもプロバスクラブ設立の機運が盛り上がってきたようで喜ばしい。当クラブは全面的にバックアップしたい。

さて、昨年暮れ松井選手は米大リーグ移籍について「裏切り者といわれたくない」という考えを持っていた話をしたが、その答えが今回のグランドスラムで出たようだ。一番安堵したのは彼自身と思う。第7回生涯学習サロンも順調な滑り出しの中で折り返し点を迎えたが、後半も全会員の協働のもと有終の美を飾れるようお願いしたい。

2.来賓挨拶（小西弘純 多摩RCパスト会長）

多摩RCは35周年を記念してプロバスクラブを作りたいと思っている。5年程前から考えてきたが、周年行事として取り組むことにした。岡野委員長を中心に、準備委員会から更に実行委員会として、進めてまいりたい。八王子の皆様、よろしくご教示下さい。

3.幹事報告（古川副幹事）

本日幹事は所用で欠席、皆様によろしくとのことでした。今月は特な連絡・報告事項はない。

4.委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

①総会と懇親会の概要が決まった。

日時：6月12日（木）午後5～8時

会場：八王子ホテルニューグランド

会費は5千円とし、当日は京王八王子駅前のコンビニam,pm前からホテルバス午後4時30分発がある。また、会の終了後にもホテルバスがある。

出欠届けは各委員会毎に本日提出願いたい。なお、総会の欠席者は委任状の提出をお願いする。

②次回例会は5月8日（木）で移動例会（野外サロン）となる。

◎情報委員会（浅輪委員長）

特に報告はない。

◎会員委員会（西志村委員長）

計画した親睦旅行の参加申込者が31名となり、大型バス使用予定となる。この会費徴収は5月8日、22日、のいずれかでお願したい。

◎研修委員会（塩沢委員長）

①お茶の会が4月4日スタートし、8名参加した。煎茶・抹茶等をいただき、和やかに楽しくすごした。

②身体を動かすことの研修をということで、ニュースポーツはどうかという提案がある。例えばグランドゴルフ、ペタンク、ミニゴルフ等ある、希望者があれば場所等考えていきたい。

◎地域奉仕委員会（浜野委員長）

①閉講式・さよならパーティーの件

参加申込は各委員会毎に本日提出願いたい。

②野外サロンの件

5月8日（木）に実施、JR南口たましん前を午前8時30分に出発したい。

江戸東京たてももの園入場は割引制度があるので、65才以上の方はその証明が出来るものを持参願いたい。

5.その他

第5回ゴルフコンペ（4月17日津久井湖G.C.）の案内（ゴルフ部 橋本義和幹事）

6.プロバス讃歌斉唱

7.閉会挨拶（立川副会長）

先日、用事でモンゴルに行った。韓国経由であったが、飛行場では厳重な検査があり2時間もかかった。モンゴルに着き、子供の顔や羊の柔らかい毛などに平和を感じた。帰途も韓国で厳重検査があった。やっといラクの方が終結を迎えようとしているが、平和の大切さを強く感じた。

皆様の協力で生涯学習サロンも半ばまで来た。引き続き閉講式までよろしくお願い致します。

◎第7回生涯学習サロン開催状況（第3週及び第4週）会場：八王子エルシィ

○サロン第3週 4月10日（木）14：00～（テーマ及び話をする人は次のとおり）

A「“シルバーエイジを輝いて過ごすために”パートⅡ」

石田 雅巳会員

B「四国八十八ヶ寺の歩きお遍路を体験して」

矢崎 安弘会員

C「懐かしの映画とその音楽（Ⅴ）」

立川富美代会員

D「井戸端会議（みんなで八王子を語り合おう）」

宮崎 浩平会員

○サロン第4週 4月24日（木）14：00～（テーマ及び話をする人は次のとおり）

A「宮沢賢治の詩『雨ニモ負ケズ』に学ぶ」

近藤 泰雲会員

B「映画の中のタンゴ」

平原 俊彦会員

C「お金のあれこれ——日本銀行券物語」

佐々木研吾会員

D「大豆よもやま話（日本の大豆、世界の大豆、食品としての歴史と重要性）」

橋本 鋼二会員

◎同好会短信 第6回「プロバスクラブ」ゴルフコンペ

4月17日（木）、桜の花が未だ名残を留める津久井湖G.C.で、プロバス会員19人の参加を得て、第6回のゴルフコンペが開催された。初夏を思わす陽気と、絶好のゴルフ日和に恵まれ、木々の新芽の眩しい緑の中、日頃の鍛錬の成果が競われました。

グリーンの改造中の所、ティグラウンドに人工芝の箇所が残っており、実力を発揮出来なかった人もいた様ですが、マイナスイオンを満喫し、和気藹々と、柔らかい新芽のフェアウェイを歩き、「若さ」を吸い取ったと思います。その証拠に、参加者の半数以上が、夕方6時過ぎに、LCに集まり、近くで、遅くまで反省会を開き、更なる親睦を深めて別れた。

成績は、優勝が初参加の矢島一雄氏、豪快なショットと緻密な読みのパットで、85で廻り、ベストスコアも獲得しました。2位は前回優勝の橋本義和氏、3位小林貞男氏と実力通りの結果。プービー賞は西志村光治氏でした。尚、第7回のコンペは、11月20日（木）、場所は未定で、矢島、西志村両氏の幹事で開催予定です。

（山崎修司 記）



◎随想

庭木の手入れ

吉田 信夫

我が家には、狭いながらも、家を建て約30年になる庭がある。この庭いじりが自分の趣味のひとつになっている。自分が小学生の頃、祖母が、道路から自宅の玄関までの通路の両側を、花壇として自分と弟の二人に自由にさせてくれたことが、今日庭いじりが好きになった大きな理由である。

庭木の手入れについては、本を読みあさり、農家で植木の手入れしているのを傍で見たりしておぼえた。我が家は、地面を削った場所のため、粘土質のまったく固い土地であった。ツルハシで約60センチほど全面的に掘り返してから庭木を植えたが、このとき肥料を大量にやらなかったため、肥沃な土地にならず、今になって困っている。

最近、前に住んでいた家の庭木を移植、植木市や、植木屋に出かけては苗木を買って植え、池を作ったりして、庭の体裁をととのえていった。庭木は若いうちは成長が楽しみで、大きくなるにつれ、その剪定が楽しく、金を出して植木職人に手入れをして貰うなどは、考えもしなかった。いまや大小取り混ぜ100本近い庭木が鎮座するまでになった。

庭木を扱って感じたことを幾つかメモしてみる。

まず、植木は大きくなること。まったく当たり前のことだが、これを忘れ密着させて木を植えるととんでもないことになる。数年もたたずして、木と木が重なりどうにもしようがなくなる。それでも、木が小さいうちは移植が出来るが、大きくなると根本から切ってしまうしかなくなる。

まだ庭に木がいっぱいにならない頃、実生から庭木の苗を育てた。つげ、もっこく、さざんか等、苗木に育てては、職場の仲間や知り合いにあげたりした。また木を掘り起こし根を新聞紙でくるみ、道路に並べ、「よろしかったら持って行ってください」との案内を出す。面白いのは、たいてい、小さいのからなくなり、最後に大きいのが残る。

木の剪定で時間がかかり厄介なのは、もっこくと松、特にもっこくは植えて6~7年経つとどんどん大きくなる。いかにして木全体を大きくしないようにするかがポイントになる。松は葉の緑つみともみあげ、年2回世話が必要となる。

庭の模様替え、これを行うと本当に庭の雰囲気が変わってくる。数年前、つつじを中心に庭をまとめた。以来4月下旬のつつじの花の季節が楽しみになった。この時つつじとさつきの混植をそれぞれに分けた。植えて20年過ぎてからの移植は大変である。つつじ、さつきとい

えども、掘り起こしの大変なこと、またその移動も一人では大変な重労働であった。

芝生の手入れ、雑草をなくするのは本当に大変である。10年ほど前、芝生に影響を与えないという除草剤をつかった。雑草は確かに減ったが、芝生も枯れてしまい、貼り替える羽目になってしまった。やっぱり根気よく雑草を一本一本抜くしかなさそうである。雑草と言えば、以前、庭にどくだみが所々に生えていた。これをなくすのが大変だった。成長が早いのと、地下茎で、茎を少しでも取り残すと翌年また芽が出てくる。厄介なのは、庭木の根の間に茎が入り込んだときである。その時はしょうがない。木を掘り起こし、根の間に入り込んだ茎をちぎらないようにそと取り出すしかない。5年ほどかかりやっとどくだみを退治した。

困っていること

庭木が大きくなったことである。剪定するのに脚立では間に合わず、3mもの三脚を必要とするようになった。年とともに剪定が大変になってきた。木の形を崩さず、いかに背丈を低くするかがこれからの課題である。

もうひとつは、先に述べたように、土地がやせていることである。肥料をやるうにも土を掘り起こそうとすると木の根が邪魔して地中に肥料を入れるのが難しい。仕方なく肥料をまき表面の土をかきまわすだけである。

このように庭木の手入れは、いろいろな楽しみを与えてくれる素晴らしい趣味である。

◎連載 くらしの法律Q&A(14)
(遺留分て何)

成田 章

Q：前回の「お嫁さんの相続」に「遺留分」という言葉が出てくるのですが、遺留分というのがよく分からないのですが.....

A：では、遺留分についてその概略を説明しましょう。

1.人は、生前、いつでもその財産を自由に処分出来ますし、遺言によって死後に処分することも出来ます。そして、その場合、全ての財産を特定の相続人に贈与・遺贈（遺言で贈与）することができますし、場合によっては、全くの他人に全財産を贈与・遺贈することも出来ます。

しかし、そうしますと、法定相続人の相続による利益期待権を侵害することになりますし、遺族の生活保障にも影響が大きいと思います。

そこで、民法は、相続財産の一定割合を一定の法定相続人に保障することにしています。これが、遺留分です。法定相続人に対する最低限の相続権保障制度ということができましょう。

このために、遺留分算定についても、その基礎となる財産額は相続開始時の財産額だけでなく、これに相続開始時前一年間の贈与額、さらに、それ以前の贈与であっても、当事者が遺留分を侵害する事を知って贈与したものはこの額を加え、これから全債務額を控除したものとしています。

2.遺留分が認められるのは、すべての相続人ではありません。

被相続人（亡くなった人）の配偶者と直系尊属（父母等自分より先の世代の人）及び直系卑属（子、孫等自分より後の世代の人）に限られ、兄弟姉妹が相続人となる場合には認められていません。

したがって、夫が死亡した場合夫婦に子がなく、夫の両親が死亡して妻と夫の兄弟姉妹が相続人になる場合、夫が妻に全財産を遺贈しておけば、兄弟姉妹には遺留分はないのですから、妻は安心して夫の全財産を相続できるわけです。子供のない夫婦の場合、是非覚えておいて欲しいことです。

どの位の遺留分が認められているかといいますと、直系尊属のみが相続人の場合は遺産の三分の一、その他の場合は二分の一です。

3.遺留分が侵害された場合、遺留分権利者は、相続人として義務とされる遺贈の履行を拒絶したり、既に給付された財産の返還を求めることができますが、返還請求権は侵害の事実を知ったときから一年以内、もし知らなくても相続開始後十年以内に行使しないと権利がなくなりますので、注意が必要です。

◎投稿 山梨県のミレー美術館が盛況であるポイント

中野 義光

全国に公・私立の美術館と称している施設は800余と云われている中で、小さい山梨県のミレー美術館がなぜ開館以来30数年経過した今も、依然として他の館を抜いて入館者が多いのでしょうか。

全国には山梨県立美術館より遙かに多額の金を掛けて、世界の名画を所蔵し規模もはるかに大きい館が一杯ありながらです。ミレーをテーマとする数回の特別展には40日間で10万余の入館者があり、ここでもミレーの魅力の底力が伺えます。

この様に、ミレー美術館が盛況である魅力はいったい何処にあるのでしょうか。人によっては、東京に近い地理的条件が良いとか、観光の名所になっているか

らだ、などと云う人もいます。しかし、それはミレーの絵のなかには理屈抜きで、日本人の心を引きつける奥深い魅力が潜んでいるということです。

日本人の伝統的、民族的な血に共感し合うものがある。別の言い方をすれば日本人の心の根底にある精神性、感性に、ごく自然のかたちで受け入れられる、云いようのない感動を起こさせるものがあるからではないかと考えられます。

ミレーの作品には、彼自身が体験した農民の貧困の中で耕し、種を蒔き、刈り取りをし家畜の世話をする日常からの自然を見つめ続け、森羅万象の自然の躍動感に対して深甚なる敬愛と自然にひざまづいて祈る様な思いが込められているのです。それが日本人の心の琴線にふれたからではないでしょうか。

もう一つの山梨県のミレー美術館が盛況である理由として大切なことは、ミレー作品をより魅力あるものに、より付加価値を高める努力として、ミレー周辺のバルビゾン派と云われる画家達の作品を、系統的、長期計画で収集して来たことです。その結果、ミレーの作品は重要作品の油絵9点に版画、デッサン、パステル画の合計25点、それにバルビゾン派の絵を加えると、ミレーに関係する作品群は70点を超える層の厚さがつくられたのです。

ひと頃、美術館ブームの中で、各館は競うように、判で押したような作品を購入し、しかもその内容は虫食いの的でありました。その結果一点50億円の作品を購入した館でも高価という話題性で、一時的に注目されても、その後閑古鳥が鳴くような入館者しかないというのが現実だそうです。

常に時代の先を読み、地域文化の先駆的、中核的施設として育つことが美術館としての使命ではないでしょうか。

以上、美術書等を読んだ感想を述べました。

近々八王子の美術館が八日町の公団住宅の2階にオープンするそうです。今まで、寄贈されたり、購入した油絵等の作品が展示されると聞いております。市民にとって憩いの場となるよう願う次第です。

◎親睦バス宿泊旅行の案内とお知らせ

(担当：親睦旅行実行委員会)

5月29日(木)30日(金)に一泊バス旅行を行います。行楽・見学場所は次のとおりです。信州白樺湖、ピーナスライン(蓼科高原、車山高原)、尖石縄文考古館、北沢美術館、諏訪湖、SUWAガラスの里、ルネ・ラリック美術館など。

宿泊：白樺湖レイクサイドホテル 山幸閣

集合場所：八王子駅南口たましん前 午前8時30分

◎第91回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日 時 平成15年5月8日（木）午前9時より

場 所 プロバス生涯学習サロン「野外サロン」と併せて実施のため貸切りバス車中

出席者 会 員 40名（立川副会長、浜野地域奉仕委員長等はサロン会員用バスに同乗）

1.会長挨拶

本日は移動例会となっています。心配された天気も曇りがち、雨が降らないことを願っている。

先月の例会の帰りに、浅川の河川敷で雉子の鳴く声を聞いたが、雉子は吉兆を表すともいわれている。今年のプロ野球はセ・パ・アメリカンリーグとも大変面白く連鎖反応が感じられる。世界経済も同じである。本日から産業再生機構がスタートするが、明るい社会になってくれればと願っている。

今日は植物園を訪れることになっているので植物の話をしします。ケシは栽培を禁止されているが、高山植物の女王として有名な花「コマクサ」はケシ科の花である。皆さんも興味をもって見学していただきたい。

2.幹事報告（松尾幹事）

総会の準備中であるが、各サークル（ゴルフ、お茶、囲碁）活動の責任者は、活動状況を報告願いたい。

3.委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

本年度も残り少なく、6月の例会・総会のみとなった。日程は6月12日（木）、八王子ホテル・ニューグランドにて行う。懇親会の会費は5,000円としている。

◎情報委員会（浅輪委員長）

①皆様の協力により、サロンの記録も順調に進んでいる。

②各サロンの記録上、担当される方の役割の名称を、講師・司会は話をする人・司会者とすることにした。冊子の編集は委員長等で担当しており、順次すすめている。

◎会員委員会（西志村委員長）

5月29、30日の2日間バス旅行を実施する。会費未納の方は納入を願いたい。

◎研修委員会（塩沢委員長）

①お茶の会がスタートしたが、皆、リラックスしており大変喜ばしい。

②6月初旬新しいスポーツのグラウンドゴルフを実施したいので、申込書に記入して提出願いたい。

◎地域奉仕委員会（鶴田副委員長）

①本日の野外サロンの出席者は会員40名、一般34名の合計74名である。

②サロンも講演・閉講式を残すばかり、順調に推移している。5月22日（木）午後2時30分より実施するが、さよならパーティは5時から開催し、「歌の翼にのせて」のアトラクションを予定している。

4.閉会の挨拶（松尾幹事）

本日の会に出席いただいた会員各位に対し、また、移動例会を準備された方々に対して、おれいを申しあげたい。

◎第7回生涯学習サロン開催状況（5月）会場：八王子エルシイ

○野外サロン5月8日（木）8：30～（JR八王子駅南口たましん前集合、貸切バスにより近郊の施設見学）

①東京都薬用植物園 ②江戸東京たてもの園 ③サントリー武蔵野ビール工場

○閉講式 5月22日（木）14：30～ 特別講話「テレビ放送 裏から見れば」

講師 秋山 邦博氏（元NHKアナウンス室長）

○さよならパーティ「歌の翼にのせて」5月22日（木）17：00～ソプラノ独唱・ピアノ演奏・男声コーラスなど

◎実施報告 親睦一泊バス旅行が実施される

5月29日(木)～30日(金)新緑と白樺のピーナスライン巡りが、会員親睦一泊バス旅行で実施された。霧が峰高原の車山周辺からの景観は、正に絶景そのもので、八ヶ岳山系・南アルプス連山・富士山も顔お出し、その連なりに中央アルプスから北アルプスが雪を残しながら、中腹に白雲を靡かせ靡かせ、雄大な大パノラマを展開してくれた。

この途中での尖石縄文考古館では、5000年前の人・物の交流が黒曜石を中心として、縄文銀座の隆盛を彷彿とさせてくれた。圧巻は妊婦土偶(ピーナス)と派手ささえ感じさせる土器類は、ロマンと高い文化を匂わせ見る者を驚嘆させるに十分なものであった。

諏訪湖の辺では、諏訪神社下社で八本の御柱(樅)の大木の勇壮な山出し木落とし祭りなど説明を頂いた。

北沢美術館での、エミール・ガレやドーム兄弟のジャポニズムに多大の影響を受けた自然回帰と妖艶な薄光に透ける幻妙な茸や植物をモチーフした作品は、アール・ヌーヴォーを代表させ、ロマンと夢を得て大いに心身の癒しを戴き諏訪湖を後にした。
(会員委員長 西志村 光治)

◎投稿

電気の今昔

小林 貞男

現代生活では、電気は水や空気と同じで、電気がなければ一日も生活ができないほど自然に生活の中に溶け込んでいる。しかし、一旦停電となった場合、社会生活はどうなるか考えてみたい。

あるアンケートで、こんな笑い話がある。貴方は万一停電になった時どうしますか、との質問に『炬燵に入ってテレビを見ながら電気の灯くまで待つ』との回答があった。こうした回答は、普段の生活の中では、電気は水や空気と同じで何時でも身近にあり停電を意識しないで生活をしている方と思われる。

現代社会では電気が長時間停電となった場合、総ての社会の活動が止まってしまう恐れがあるのも現実である。

では、関東地方(山梨県・静岡県富士川以东を含む)の電力事情はどうか。簡単に説明しますと、関東地方で必要な電力は約6,000万kwで、発電能力は6,300万kwで、内訳は、概ね火力45%、水力16%、原子力35%、その他4%を保有しているので電力不足が発生する心配はありませんが、皆様がすでにご存じの通り、原子力発電所の不祥事(定期点検でのデータ改竄・未報告など)の発覚により、全原子力発電所(17基2,300万kw)を停止し、再点検(3ヶ月が必要)を実施することとなった。

この事により、今年の夏には電力不足(他電力よりの融通・旧型の火力発電所の再稼働などで補う)が生じ大停電が発生する心配があるが、なんとか乗りきって欲しいと願うものである。

さて、電気が始めて日本で送電されたのは、明治11年(1878)3月25日東京虎ノ門の工部大学校講堂でアーク灯が披露された。これがわが国の電灯の初点灯である。(電力史より)

その後、研究を積み重ね、明治16年(1883)わが国最初の電気事業者である東京電燈が設立され、明治19年

7月5日に営業を開始した。各地でも電力会社が設立され、再編を繰り返し、昭和17年4月電力統合令まで続き、現在に至っている。

私達の町八王子を振り返ると、明治28年4月に八王子電燈が設立され、当初は水力発電であったが、明治32年10月からは、火力発電により供給を行った。しかし故障が多く、お客様の不満が絶えず、休業に追い込まれていた。明治39年1月に休業中の八王子電燈を東京電燈が買収し、八王子(周辺を含む)の電燈供給が本格的に開始された。

昭和17年まで東京電燈は、ほぼ関東一円を供給エリアとして発展し続けた。

三多摩を見ると、府中・立川などは京王電鉄電力部が、町田・相模原などは相武電力が、五日市などは秋川電力がそれぞれ電燈供給を行っていた。

昭和17年4月電力統合令により、個々の電燈会社がすべて解散し、全国九配電会社に統一され、関東地区は関東配電(株)が発足した。しかし各配電会社は発電機能(一部発電所所有)は持たず電気の販売会社で、配電(電燈・電力の供給)が主力の会社であり、発電・送電は別会社の日本発送電(株)が担当していた。

その後、戦争となり、終戦に至るまで爆撃による火災等で配電設備は壊滅状態となり、復旧には終戦後数年を要した。

町の復旧につれ電力使用も大幅に増加し、従来の配電会社では対応が不可能な状態に陥り、昭和25年5月に発電から配電まで一括供給すべく、電力会社(九電力)東京電力が発足し現在に至っている。

電気の移り変わり

1.電圧

低圧 600v以下で一般家庭は100vだが現在は

100v/200vが使用されている。将来は200v～400vの供給の可能性がある。

高圧 7kV以下で一般配電線は3kVだが昭和35年から順次6kVに格上げされ現在も続いている。

ごく一部に2万V配電線が使用されている。

特別高圧 7001V以上、発電所から配電用変電所までの送電用に特別高圧が使用されている。電圧も当初の1万Vから現在では6万Vが主流である。

超高圧 15万V以上、最近では発電所が遠隔地に建設され、大量の電力を送電する必要から、最高電圧50万Vで送電し、町周辺に中間変電所を置き25万Vから6万Vに電圧を落とし、配電用変電所までの送電が主流である。

近い将来100万V送電が実現するかも？（現在研究中）八王子市の今熊にある、新多摩変電所は受電容量400万kw、電圧50万Vの大容量の変電所で、三多摩全域をカバーできる。

2.配電線

市内に立っている電柱は、昭和40年代に入り木柱から徐々にコン柱（コンクリート柱）に変わって、現在はほぼ100%コン柱で、建物が高くなるにつれ、長さも14m～16m（木柱8m～12m）と高くなってきている。また最近では、配電線の地中化が繁華街を中心に進められているが、まだ多くの課題を残している。更には、あまり一般には知られていないが、電線についても、同時期から銅線からアルミ線に材質が変わっている（架空ケーブルは除く）。

3.事故対応（停電事故に対する対応）

最近では、好材質の使用・設備強化などで、故障による停電はほとんど皆無に近い状態だが、気象の変化（台風・雷・雪）や自動車の衝突での電柱折損停電などによる停電事故は、今後も想定され、対策が取られています。更に強化対策が必要です。具体策は、所内の制御盤での切り替え（従来は現場に出向し手動切り替え）を順次拡大し、万一の停電事故の復旧（短時間の復旧）に備える事が肝要であります。

電力の変遷について、ごく大ざっぱに述べましたが、これからも社会の進歩と共に停電のない電力は益々必要になると思います。

最近になって、電力の自由化が解禁となり、昔の様に自由に好きな電力会社から電気が買える時代が、目前に迫っている。自由化が実現の場合、何処の電力会社から電気を買っても、何時でも、何処でも、安心して、安全に使用できる電力の供給を願うものである。

◎連載

くらしの法律Q&A(15)

（相続における寄与分）

成田 章

Q：父が亡くなりました。相続人は、母、私、弟、妹の4人です。弟、妹は独立して所帯を持っています。

父は食堂を経営していましたが、私は若い頃から父の店を手伝い、最近では経営の実権も殆ど私が握っていました。しかし、その名義はすべて父のものになっていました。現在の店の隆盛は私の努力に負うところ大と自負しています。

ところが、遺産分割の協議で弟、妹は平等分配を主張して譲りません。遺産分割について私の貢献度は考慮されないのでしょうか。

A：あなたの御不満はごもっともです。遺産分割に当たって、特定の相続人の遺産に対する貢献度が全く無視されるのはおかしいのではないかとの意見が強く、昭和55年に民法が改正され寄与分という制度ができました。

あなたは、この寄与分を主張されればよいと思いますのでその概要を説明します。

寄与分とは、相続人のある者が労務の提供、財産上の給付、療養・看護等で被相続人の財産の維持又は増加に特別の寄与をしたが、被相続人の生存中にその対価ないし補償を得ていない場合にその者の相続分の増加を認めようとするものです。

寄与分のある者の相続額は、寄与分を控除したものを相続財産とみなし、これをもとに各相続人の相続額を算出し、その額に寄与分額を加えたものを寄与者の相続額とします。

寄与額は相続人の協議で決めますが、合意ができないときは家庭裁判所が決めることになっています。

なお、寄与分制度の難点は、被相続人が全財産を遺贈してしまうと寄与分の主張はできないということです。

◎お礼 身近な法律の問題をわかりやすく説明いただいた、15回にわたる連載「くらしの法律Q&A」は、今回をもちまして一旦終わることとなりました。長い間まことにありがとうございました。（情報委員長）

◎慶事情報

高齢により昨年退会された桂元二氏は、文化交流の功績によりモンゴル国ウランバートルバガヌール地区から名誉市民章（勲章）を授与されることとなり、5月29日東京渋谷のモンゴル大使館にてモンゴル国駐日特命全権大使から胸に勲章を付けてもらった。

◎随想 往時茫々

向山 光春

大分前のことになるが、朝日新聞の片隅に「水俣湾口の網が昨夕撤去された。これで長年にわたる紛争も一段落となった。」旨の囲み記事がのったのを見た記憶がある。その時、戦後暫くたった或る日、東京湾口の防潜網が撤去された日のことを連想した。一方は敵の潜水艦の侵入を防ぐためのものであり、もう一方は、有機水銀に汚染されたおそれのある魚介類を湾の外に出さないための措置である。(勿論湾内での漁獲は一切禁ぜられている。) いずれも「戦後」の終わりを告げる象徴的な事件である。

その水俣から北上した有明湾沿い、長崎県諫早湾口に堤防をきずき諫早湾内約1万haをまるごと締切る「長崎県南部総合計画」(南総計画)、所謂諫早干拓計画の打ち切りが宣言されたのは、1982年12月のことである。この計画は1976年に決定されたが、湾内外の漁民の反対にあい6年間棚上げされていたいわくつきのものである。

この打ち切り宣言は、こともあろうに所管の農林水産大臣金子岩三によって「これまでに農水省のやってきたことは、無定見きわまりない」とのコメント付きでなされた。時の総理大臣は「ゼンコウ・フウ～」と就任時の裏話が話題となった鈴木善幸氏である。善幸氏は岩手県、岩三氏は長崎県出身の水産人で、かねてからの盟友である。(ちなみに大相撲の隆の若は長崎県生月町出身で、岩三氏と同郷である)

そもそも干拓事業は、秋田県大潟村を造成した八郎潟干拓が有名で我が国最大規模のものであるが、金沢市に隣接する河北潟を消滅させた干拓、島根県の中海干拓や安土城地先の琵琶湖の内湾を埋立てた大中の湖干拓、瀬戸内海の児島湾干拓等々枚挙にいとまがない。いずれも「米」増産のための事業であるが就中八郎潟干拓は当時の秋田県知事小畑氏がその政治生命をかけて、オランダから専門技師を招いて行ったものである。1965年ようやく完成の目途ががつき、全国から入植希望者を募り順次入植させた時皮肉にも「米余り」が明白となって以後「減反政策」に360度切替わざるを得なかった時期であった。このため入植者の半数は「米作り」から畑作・酪農に転換したが、営農技術は未熟であり用地の乾田化も容易に進まず苦難の連続であった。中海干拓の一部は花卉園芸に転換したが、ほぼ完成した締切り水門は全面解放されて事実上工事中止の状態になるなど干拓事業は全国的に終止符をうつこととなった。

こうした時期にも拘わらず南総計画のみは推進され

た。八郎潟干拓の諸々のノウハウを貴重な国家的財産と見做し、これを後世に残すためのものとして南総計画がとりあげられたからである。ただし、当初計画のままの継続は許されず、防災対策を加えて全面的に見直され、規模も3分の1に縮小された。しかし金子大臣は漁民の反対をうけて全面中止を念願していたらしく「この計画は、農水省の干拓技術者の失対事業」とまで苦がり切っている。この南総計画—諫早干拓事業が、有明海のノリ不作を契機に福岡・佐賀・熊本の有明湾沿岸漁民の「潮受け堤防の水門をあける」との要求で未だに紛糾している。長崎県や地元選出の国会議員は、いまなお「干拓事業推進」を固持して対立しているからである。

冠水し易い低湿地で畑作・酪農をやれるかどうかは、立地条件のより良い大潟村の前例にてらしてみれば明らかであろう。数千万円の入植資金を借金してまで入植にふみきる農家がおるかどうかも覚つかない。

が、他方、潮受け堤防の水門閉鎖がノリ不作に結びつくかどうかの根拠もすいようだ。ノリ不作はこの地域だけでなく各地に発生しているからである。密植による海流の変化であったり、水位低下による沖合化であったり、ヘドロの堆積によるガス発生も想定され種々の要因が考えられるからである。

兎もあれ、98年に初当選した現在の長崎県知事金子原二郎は、父金子岩三氏引退のあとをうけて衆議院議員に当選した後、転進した所謂二世である。

「ギロチン」と悪罵される締切り水門は、父岩三の反対派であった前知事時代の遺物であるから、「干拓事業」へのこだわりを捨てさえすれば漁民の要望に沿える筈である。

「父岩三ならばどう対処しただろうか！」と自問してもらいたいと思うのは、公平な第三者の率直な見解である。

〈追記〉

熊本県南部の「川内ダム建設事業」に関する地元住民の建設反対訴訟の判決が5月中旬あって、国側敗訴が確定したが、それと期を同じくして、金子知事は「干拓事業の実施」を国に対し陳上した。

◎第92回例会報告（司会 橋本例会委員長）

日 時 平成15年6月12日（木）午前5時より

場 所 八王子ホテルニューグランド

出席者 会 員 52名

来 賓 東京八王子南RC 中島郁夫幹事

1. 会長挨拶

今年の梅雨入りは例年より遅れたが今紫陽花が見頃のよう。

今日は最後の例会、まとめの総会でありこの1年間の業績を自己採点してみると、10周年に向けたスタートの年と位置づけ準備金積立てを提案、各位のご賛同を得てレールが敷設できたこと 20点。各委員会が夫々の創意工夫のもと全員協働しての活動の結果当初の目標を十分クリアし結果が得られたこと 25点。クラブ発足以来始めての一泊懇親旅行が約半数の会員の参加を得て実現したこと 10点。インフォーマルグループを認知し補助金制度を創設、結果は十分とはいえないまでも活性化が見られた 5点。家庭事情等による退会があったが病気等による退会はなく健康で1年間過ごせたことは喜ばしい 5点。合計65点でギリギリの合格点を付与できるものと思っている。

当クラブの運営にご支援ご協力を賜った役員諸兄姉並びに会員各位に心からお礼申し上げる。有り難うございました。

2. 来賓紹介（中島郁雄 東京八王子南RC幹事）

3. 新入会員紹介

小林時雄（こばやし ときお）（推薦者：岡田 尚会員）

昭和11年10月6日生 住所：〒192 - 0032 八王子市石川町2102 - 9 TEL.0426 - 42 - 1422

主な経歴：（株）小林装飾社長 趣味：読書、ゴルフ、会員番号：82 所属：例会委員会

入会挨拶の後、会長よりバッジが手渡された。

4. 幹事報告（松尾幹事）

①入会退会等手続きに関する細則の一部改正の件

現行の細則のうち休会と退会の手続きについて、現状に即した規定の整備を行い改正した。なお、遡及適用は行わないこととする。

【改正】第2条 休会 所定の用紙により申し出を行い、理事会の承認を得る。なお、休会期間は1年以内とし、休会期間中の会費は免除する。

第3条 退会 退会は自由とするが、所定の用紙により申し出るものとする。なお、6ヶ月以上会費未納の会員、又は、6ヶ月以上例会を無断欠席した会員は退会したものと見なす。この場合の退会手続きは、予め本人と推薦者の了解を得てから行うこととする。

②この1年間、無事に務めを果たすことができたこと、会員各位の協力を感謝する。

5. 委員会報告

◎例会委員会（橋本委員長）

①本年度の例会は、いくつかの新しい形態にチャレンジし、会員相互の交流に資するよう努力してきた。

平均出席率も80.5%と高く、会員の例会に対する関心も高まり効果があったと思っている。

②この1年いろいろと提案やお願いをしたが、それぞれ会員の協力をいただいて感謝している。

◎情報委員会（浅輪委員長）

①プロバスだよりの発行については、会員より投稿など沢山いただき、各号とも賑やかな紙面にできた。

②サロン小冊子は現在順調に制作中であり、協力いただいた各位に感謝申し上げます。

③サロン後援者に対しては小冊子完成次第報告したい。

◎会員委員会（西志村委員長）

- ① 新企画の親睦バス一泊旅行は、多数の参加で賑やかに実施でき、お礼を申し上げる。なお参加者には、記念写真を配布する。
- ② 会費徴収は会員委員会の担当となっているので、次回例会は徴収月であり、よろしく願います。

◎研修委員会（塩沢委員長）

- ① この一年を振り返ると、例会での卓話はお茶をのみつつの雰囲気を実施し、サークルを増やす件はお茶の会ができ、また実のある研修の件は箱根方面へバスで野外研修を実施し多数の参加を得た。
- ② 心身を高める研修にも取り組んだが、残念ながら申し込みが少なく中止した、更に検討したらと考えている。いずれにしても、本年度研修委員会への協力をいただき、感謝している。

◎地域奉仕委員会（浜野委員長）

- ① 5月下旬に本年度事業の第7回プロバス生涯学習サロンが無事終了した。このサロンの受講者は延べ669名であり、出席率は82.6%となる。盛会裡に全課程を終了することができ、全会員の協力にお礼を申し上げたい。
- ② このサロンのアンケート集計が纏まった。各週4講座1選択の受講であり、やむを得ず割愛した講座も多く見受けられ、今後のカリキュラム作成上の検討課題と考えられる。また各項目の評価については、総じて好評点の回答を得ており、満足できる結果であったのではと喜んでいる。
- ③ サロンの会計は小冊子発行後に確定し、その後に報告することとなるので了解願いたい。

6.プロバス讃歌斉唱

7.閉会挨拶（立川副会長）

ただいまのプロバス讃歌の歌声を聞き、これは二部合唱にしたらすばらしいのではと感じた。さて、動物シリーズになるが、猪は20年前と比較して1割に減ったという。この激変はさまざまな影響からだと思うが、地球環境も変化する今日、各人が何をしたらよいか考えるときではないかと思う。年度最後の例会であったが、この一年、各委員長を中心に活動を続けられた皆様にお礼を申し上げます。

◎第7回定期総会報告（司会 松尾幹事）

日時 平成15年6月12日（木）午後5時50分より6時20分まで、例会に引き続き同会場にて

- 1.開会 司会者より出席会員54名、現在会員数63名と報告あり、総会成立を告げる。
- 2.議長選出 司会者発議により石井實会長を議長に選出
○書記の指名 廣瀬智子会員、佐々木研吾会員
○議事録署名人の指名 大山 泰会員、山下安雄会員
- 3.議事

(1)2002年～2003年度事業報告（松尾幹事）

本年度は「和 協働 健康」というテーマを掲げ、この方針のもとに、対外的にはいちょうまつりなど例年と同じ活動に取り組んだほか、コスモスまつりにも参加した。また各委員会の活動も活発で新しい試みも加えられて事業を展開してきた。

個々の事業については、資料のとおりであるが、特に強調したいところは次のとおりである。

- ① 例会は高い出席率で、会員の交流を深め得たところであるし、また、新しい雰囲気作りに挑戦し効果もあった。
- ② プロバスだよりに投稿等多数の会員の登場が見られ活発化がはかられた。また語句に留意し紙面を刷新した。
- ③ 規定改正に尽力したほか会員増強に力をいれ、他委員会と協力して親睦旅行を実現させた。
- ④ さまざまな研修をとりあげ実施したが、健康にも留意したチャレンジが見られた。
- ⑤ 生涯学習サロンを素晴らしい内容のものに作り上げ、これを成功裡に終了したことは喜ばしい。なお、本年度よりサークル活動に対して補助制度を設けたが、3グループに対し補助金を支給した。

会計については6月末日までであるので、次回例会にて報告することとする。

なお、会員異動は、年度当初62名、入会4名、退会3名で、現在会員数63名である。

○議長これを諮り、報告は拍手で承認された。

(2)2003年～2004年度役員選出（石井会長）

会則第9条に理事9名、会計監査2名を総会で選出とあり、立候補者を求めたが応募する者なく、執行部は次の候補者を提案、満場の拍手をもって選任された。

理事 立川富美代（会長）、大高秀夫（副会長）、下山邦夫（幹事）、鶴田金通（副幹事）、田中 寿（例会委員長）、武田洋一郎（情報委員長）、中野義光（会員委員長）、須藤英雄（研修委員長）、宮崎浩平（地域奉仕委員長）

会計監査 石田雅巳、近藤泰雲

○それぞれ役員が紹介され、次期会長より事務局長に引き続き岡田 尚会員を委嘱したい旨発言があり紹介された。

(3) 発議議案（石井会長）

例会で入会退会等手続きに関する細則の一部改正を報告したが、従来の該当者に対しては旧規定の適用を遡及しないこととしたい旨確認の提案があり、了承された。

○これをもって議事が議了したので、議長は議長席を離れた。

4. 旧役員退任挨拶（代表 石井 實会長）

全役員を代表してお礼を申し上げる。この一年間ご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。

5. 立川富美代新年度会長挨拶

総会に於いて選出された理事9名と会計監査2名、それに会長委嘱による事務局長で、来月より新しい年度が始まる。会員の皆様どうかご協力をお願いいたします。

6. 来賓挨拶（中島郁夫 東京八王子南RC幹事）

なかなか和やかな総会であると拝聴した。これからの活躍に期待したい。

会の運営はなかなか大変なことであるが、さまざまな事業に取り組みられるプロバスクラブの存在は大きなものがある。石井会長初め役員の方々を慰労するとともに、立川新会長初め新役員に期待したい。

7. 閉会（松尾幹事） 以上をもって総会を終了する、ご協力に感謝すると述べ、閉会を宣した。

◎懇親会 総会終了後、恒例の懇親会を行い、賑やかに交歓・懇談を行った。

◎第7回生涯学習サロンアンケート集計抄（設問4～7について要約作表） 調査日：平成15年5月22日

【回収状況：一般会員37枚回収、PC会員52枚回収、計89枚配布78枚回収】

会場規模			会場雰囲気			日程について			時間について PC		
	一般	PC		一般	PC		一般	PC		一般	35
広い	0	0	落ち着けてよい	32	36	よい	21	35	丁度よい	28	3
丁度よい	35	35	落ち着けない	0	3	3ヶ月は長い	1	2	長い	0	3
狭い、他	2	4	その他	0	0	3ヶ月は短い	15	4	短い	3	41
計	37	39	計	32	39	計	37	41	計	31	

◎投稿

いま子どもたちはよく遊んでいるか

浅輪 豊治

近頃は外で遊ぶ子どもが少なくなった。道を歩いていてさえも、危険なものに遭わないようにと神経を使わなければならないとは、子どもにとっては不幸な時代となったとしか言いようがない。

最近文部科学省が発表した「完全学校週5日制の下での地域教育力の充実に向けた実態・意識調査」によれば、毎週土曜日が休みになってよかったが5割を越えているが、土曜日・日曜日に「学校や家庭でできない体験をもっとしてみたい」は小学生5割以上、中高生4割以上で、「することがなくてつまらない」は小中高校生とも3人に1人はそう思っているという。総じ

て朝寝や昼寝、テレビやビデオを見る、テレビゲームなどをやる等が多くなっており、まったく驚かされる。

この調査を見て思うことは、割合多くの子どもたちが家にこもりがちで目的が見出せず、親子の対話もそれほど多くなく、漠然とした意欲があっても行動に繋がらないと言うことではないか。

作られたゲームの中だけ、誰かに指示された範囲内だけというようなところでなく、懐かしむわけではないが、昔の子どもたちのように大人にそれとなく見守られて、さまざまな場所で自由に工夫して飽きる事もなくよく遊んで欲しいと思う。

このような子ども世界は、もはや実現不可能なものであろうか。

◎随想

自然が危ない

宮崎 浩平

毎日、浅川の川岸を歩くことを日課としている。歩いていてつくづく感じることは、子供の頃の遊び場であった河原の景色が昔と変わったことである。うなぎの寝床、鯉や鮒の溜まりであった蛇籠は護岸整備によりコンクリートの堤防に変わったことはやむをえないとして、大小の様々な石や砂利によって広々と敷き詰められた河原がなくなってしまったことである。いまの河原は雑草によって覆われ、季節ごとに変わるタンポポや月見草、ススキはなくなり、明らかに外来種と分かる背の高いあわだち草や広くはい込む芋菊等の類によって一面繁茂し、占められて居る。加えて川の水がよごれ、水量も少なくなってしまった。魚もハヤや小鮒などはいなくなり、丸々と太った鯉や誰かが放した外来のブラックバスのたぐいだけが泳いでいる。

子供時代の浅川の水はきれいだった。水量も多く、泳ぐことは勿論のこと、魚取りにしても、夏休み中八王子の町場の多くの子供達が毎日魚取りをしてもなお余るものがあつた。

魚の種類も豊富であり、ハヤ、ふな、こい、ときには多摩川から上ってくるアユなどもいた。清流だけに棲む河鹿や沢蟹もいた。戦後の食糧事情の悪かった頃にはその魚たちは私達のタンパク源にもなっていた。いまの川の状態から想像出来ないことである。河原に広がる雑草、汚染された川の水、むかしの浅川の自然はどこへ行ってしまったのだろうか。

先日、みどりの日の新聞にこのような記事があつた。世界でクワガタムシの種類が最も多い場所はどこか。熱帯林？それとも日本の里山？

答えた専門家の言葉が面白い。答えは日本のペットショップだそう。クワガタムシ研究の第一人者の五箇公一さんはそう答えている。大量のクワガタムシが輸入されて里山は今、大きな危機を迎えている。日本は1999年11月、クワガタムシの輸入を解禁した。2003年3月現在、解禁種は505種。輸入個体数は200万匹を超えるとみられる。五箇さん達は国内に広く生息している「ヒラタクワガタ」のDNA変異を調べる研究を2001年に始めた。全国のヒラタクワガタ110個体を解析。外国産と日本産の雑種3個体を発見した。飼われていたものが野外に逃げ出すなどして日本産と交雑し

生まれたと推測された。実際に、スマトラオオヒラタクワガタのメス（体長50^{mm}）と日本産ヒラタクワガタ（体長50^{mm}）を室内で飼育する実験をしたところ雑種が生まれた。雑種のオスは体長80^{mm}で親よりはるかに大きく動きも活発。両親のどちらよりも強い「雑種強勢」が働いていると考えられた。

輸入解禁されて今年で4年目。五箇さんは「今夏は、外国産と日本産の交雑種が野外でたくさん見つかるのではないか。日本列島のヒラタクワガタの多様性は、数百万年かけて完成したもの。この貴重な進化の遺産が、外来種によってたった数年で壊されようとしている」と指摘する。

何の規制もとらない国や、外国産種を野外に放すマニアの姿勢は批判されるべきだ。

だが実は、デパートやペットショップで買う一般の人達も注意しなければいけないこともある。売られているクワガタムシの多くはどの地域で採集され大量増殖されたか分からない。外国種と交雑しているものが国産として売られている可能性もある。細かな遺伝子組成の攪乱により変異が顕れることは自然破壊につながることである。五箇さん達研究者は「買ったクワガタムシは死ぬまで飼って欲しい。クワガタムシブームによって国内、海外の乱獲が自然破壊を起こしている点にも目を向けるべきだ」と話している。

この記事面白がってはいけな。自然が危ない。浅川だけのことではない。日本全国でこの問題は起こっていることは誠に残念である。昔に戻ることは出来ないにしても自然を保つことに、もっと深く自覚が必要ではないだろうか。一匹の放したクワガタムシが生態系を壊し自然破壊につながっていること。キャッチアンドリリースと称して釣って放すブラックバスもしかり、トマト栽培に利用する西洋オオマルハナバチも同じである。確実に自然を破壊している外来種の脅威。宮沢賢治の「風の又三郎」の中の一節、「あんまり川を濁すなよ、いつでも先生いうではないか。」の言葉を想い起こす。

落書帳

ビュータワーハ王子も完成し、甲州街道地下には八日町夢街道パーキングもオープンした。ハ王子まつりももうすぐだ。活力と魅力に富んだ自立都市づくりのひとつ、中心市街地の再生・都市活性化につながる市街地整備へむけて、街に活気が出てくる契機となることを期待したい。 <J>

◎第93回例会及び臨時総会

日 時：平成15年7月10日（木）午後12時30分より

場 所：八王子エルシー 4階

出席者：会員 54名（出席率84%）

来賓 八王子南RC 小澤春美プロバス担当委員長

1. 会長挨拶

本年度1年間、新たなメンバーでクラブの運営をしてゆくので、よろしくご協力願いたい。振り返ってみると33名からスタートしたこの会が、このようにテーブル一杯に並んだ会員で埋まったことは感慨無量である。本年度の運営方針は後ほどの臨時総会で前年度決算報告、今年度の予算案等を審議する中で発表したい。

2. 臨時総会

(1) 平成14年度決算報告・監査報告

◇東京プロバスクラブ決算報告（松尾前幹事）

- ・収入3,663,392円 主な予算対比増減 助成金50,000円増、特別例会費160,000円減
- ・支出3,663,392円 主な予算対比増減 例会活動費81,100円減、委員会活動費213,036円減、特別例会費200,945円減

収支損益金649,831円の処分として、10周年記念事業積立金に30万円をあて、次年度への繰越金349,831円とする提案があった。

◇第7回生涯学習サロン会計報告（浜野前地域奉仕委員長）

- ・収入1,819,744円
- ・支出1,819,744円 主な予算対比増減 さよならパーティー費170,420円増
ほぼ予算どおりの実行であった。

◇監査報告（向山前会計監査）

6月25日に帳簿・証書等精査の結果、適正に処理されている旨、報告があった。決算報告につき、会計監査から記載・報告内容は簿記形式の採用を検討するよう示唆があった。

以上の報告につき、全員一致で承認された。（詳細の決算報告は配布資料参照）

(2) 平成15年度運営方針・委嘱人事（立川会長）

平成14年度の決算報告も承認され、前年度役員の皆様に心から感謝申し上げる。平成15年度の運営方針だが、初代大野会長から7代に亘り、色々なことが組み込まれ完成度の高いクラブ運営がなされていると考える。

今年の運営方針・活動方針のテーマとして「-喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう-」とした。本来ならばシルバーエイジのクラブとしては、健康を第一に掲げるべきだが、この数年、皆様におかれども留意しておられるので、健康であることを前提に、より仲間意識を高め、仲良く楽しいクラブ作りをしたいということが根本になっている。会員同士がコミュニケーションのアップを図ること、それにはどうしたらよいかを考える。

第1に仲間意識をより高めるためのクラブ活動 ・例会の時間活用の充実・会員交流の事業・サークル

活動の奨励活発化・委員会活動の充実

小さな輪が重なって大きな力に変化してゆくことを期待したい。

第2に対外的な活動の展開 内部の活動、生涯学習サロンは活発・充実しており、今後とも投資し、展開してゆく。

・本年度は、さらに八王子という地域に密着した奉仕活動に対しても、積極的に展開したい。その一つに“八王子健康づくり推進協議会”への参画。厚生労働省が打ち出した“健康日本21”方針で八王子市も自治体として推進するもので、参加団体との積極的な交流とクラブのアピールを期待する。

・東京八王子プロバスクラブの情報の発信 ホームページの立ち上げ。日本に86のプロバスクラブがあるがホームページで情報発信をしているクラブも多くなってきた。当クラブも外部に対し情報発信をする段階にきており、予算化した。情報委員会を中心に構築願いたい。

・他クラブとの情報交換の意味で、一昨年来、全日本プロバスクラブ協議会から加盟の勧誘があり、今年は参加をする方向で動くこととしたい。

第3に10周年に向けての準備 再来年は南ロータリークラブ、20周年、当クラブは10周年の年に当たるが、周年記念事業に向けクラブの活動記録を整備してゆきたい。また、両クラブの合同例会を再開したいとの話もあり対応したい。

以上の運営目標に従い、ベストよりベターなクラブを目指して今年一年頑張りたい。会員のご協力をお願いする。

続いて、委嘱人事の発表

・事務局長 岡田尚氏にお願いする。

・各委員会の委員については配布資料「2003～2004年度委員会組織表」による。

(3) 平成15年度予算案（下山幹事）

・収入3,583,831円 主な収入 会費2,142,000（前期62名、後期57名）、特別例会費725,000円

・支出3,583,831円 主な支出 例会費1,024,400円、特別例会費1,052,000円、ホームページ立ち上げ150,000円新設

以上の報告につき、全員一致で承認された。（詳細の予算案は配布資料参照）

3. 例会議事

(1) 来賓紹介・挨拶（南ロータリークラブ・プロバス担当委員長 小澤春美様）

今年1年、プロバスクラブと南ロータリークラブ（RC）との良きパイプ役として働きたい。

本年度の南RCの目玉事業として「地上の星を探そう」という題で夢のある事業展開をする。

八王子在住・在職の人で地域に貢献、感動のある仕事、またそのような人生を送っている人を推薦し、賞をもらっていただくという事業である。該当者がいれば、是非推薦願いたい。

(2) 再入会会員紹介（立川会長）

野末孝雄氏 会員ナンバー37 所属は会員委員会とする。

(3) 幹事報告（下山幹事）

・休会届け 川津会員

・会員の所属委員会決定

・八王子市市民健康づくり推進協議会に加盟

・全日本プロバス協議会に加盟

来年、大阪で開催するRC世界大会にあわせ、全国会議を計画中である。協議会の性格は当面、連絡会としての位置づけである。

・各委員会とクラブ役員との懇談会を7月中に実施する

(4) 委員会報告

◇ 例会委員会（田中委員長）

8、9月の例会はラフスタイルの服装でよい。

今年度は次の方針で進めたい。

- ・定例会議の内容の充実を図る・会員相互の交流を深める例会とする・限られた時間で会話が弾む例会にする。例会について新しい提案があれば提示願いたい。欠席の連絡は、当日9時までに必ず連絡いただきたい。

◇情報委員会（武田委員長）

- ・今年度の新たな命題 ホームページの立ち上げワークショップを設置、情報委員を中心に会員からメンバーを募り検討してゆきたい。
- ・プロバスだよりの推進 従来どおり、会員からの寄稿、随筆等の投稿協力をお願いしたい。

◇会員委員会（中野委員長）

新しい会員名簿の配布 今年度は次の方針で進めたい。

- ・会員募集強化として7,8名増を計画する
- ・入会者の履歴業種の幅をさらに拡げる

◇研修委員会（須藤委員長）

- ・会員の自己啓発の場を提供するのが使命、会員各位の協力をお願いしたい

◇地域奉仕委員会（宮崎委員長）

- ・生涯学習サロンの運営を中心に活動する
- ・いちょう祭り、ロータリークラブ行事等地域に密着した奉仕活動への参加を積極的に展開

(5) その他

- ・次回例会について（下山幹事）
8月7日（木）午後12時30分より開催（定例の第2木曜日を変更）
- ・囲碁の会から連絡（矢崎会員）
10月23・24日藤野・陣屋温泉にて囲碁の会開催、一般の方の参加大歓迎。

4. 各委員会打合せ

各委員会ごとに約20分間、第1回委員会を開催し、副委員長の互選、役割分担、委員会運営方針等の打合せを行った。

5. プロバス賛歌斉唱

6. 閉会の辞（大高副会長）

会長を補佐しクラブの運営に尽力したいので、協力をお願いしたい。

○委員会懇談会実施

各委員会では新年度にあたり、クラブ三役を交えて懇談会を実施しました。

- ・7月17日（木）会員委員会 アンシャンテ ・7月30日（水）研修委員会 つきじ植村
- ・7月24日（木）情報委員会 海賊船 ・7月31日（木）例会委員会 富士森会館海苑
- ・7月28日（月）地域奉仕委員会 つきじ植村

シルバーエイジの得々情報・・・シルバーエイジを楽しもう！

☆プールへ行こう

- ・東浅川保健福祉センター 毎日・無料
 - ・甲ノ原体育館（通常400円）毎週木曜日・2時間無料
 - ・あったかホール（通常400円）毎週木曜日・2時間無料
- 60歳以上、八王子市内在住の公的証明となるものをお持ちください。

☆映画館へ行こう

- ロードショー（一般入場料1,200円～1,800円）
- 八王子市内の映画館・いつでも1,000円
- 都内では1,200円の場合があります。
- 60歳以上、公的証明となるものをお持ちください。

☆音楽会へ行こう

- 東京都シルバーエイジ芸術鑑賞補助事業で指定する42コンサート公演から選択 対象は都内在住・在勤の65歳以上の高齢者（5月末現在）で3,000円の割引券配布（今期は申し込み終了です。毎年5月31日期限）

☆都立美術館・博物館へ行こう

- 65歳以上の高齢者は入場料が一般入場料の半額になります。（例）東京都庭園美術館 800円→400円
- 但し、特別展がある場合は別途設定となる場合があります。
- そのほか、探せば色々あると思います。皆様からの情報提供をお待ちしております。

土井 俊玄

日本人は無宗教の民族だと思われている。特に一神教を奉じている人々から見るとそう見えるらしい。もちろん全ての日本人が無宗教だと言っているのではない。別の言い方をすると日本人は宗教音痴だとも言われている。「あなたの信仰している宗教は」と問いかけられた人が明確に「私は何々教の信者です」と胸を張って答えられるだろうか。答えられる人は少ないのではないだろうか。それでは日本に宗教がないのかということではなく、日本には宗教は溢れかえっている。そして人生の節目、節目に宗教的儀式をとり行ない、日常生活においても宗教との関わりは大きいのである。それにも拘わらず、外国人から見ると、日本は無宗教国家と思われてしまっている。それはなぜなのだろうか。

平成十年三月号の「現代」の30ページに五木寛之氏と山田洋次氏の特別対談（日本人の「こころ」が揺れている）サブテーマとして“仏教は中高年を救えるか”の中で、山田洋次氏は次のように述べている。「日本人は無宗教だと言われる。自分でもそう思っている人が多いが、日本人には昔から固有の宗教観があるのではないか。西欧的な宗教の基準にあてはまらないだけである。北アフリカのモロッコの日本大使と食事をしながら対談した中で、モロッコに世界一のモスクが完成し、その落成式に日本と中国のみ招待されなかった。日本の大使は面目を失い、日本人の名誉も失うようなこのことにモロッコ政府に抗議したところ、日本は多神教の国であり、多神教はイスラム教徒から見れば宗教とは認めないから招待しなかったのだとの答えに驚いたと大使は言い、それでは韓国だって同じなのに招待されているのはなぜなのかと食いさがつたところ、韓国はカトリック教徒が非常に多いので招待したとの返事であった。モロッコの日本大使は、くやしい思いを抱いたことであろうと山田洋次氏は述べているのである。

多宗教信者或いは無宗教という日本人が国際的信頼を損ねているという事実は、国際社会で働く多くの日本人から聞く話でもある。五木寛之氏は、森の中の神殿の前に立ったら西行法師が「なにごとのおわしますかは知らねども、かたじけなさに涙こぼす」と詠み、社殿の中には何が「おわします」かは定かではないが、この上なく敬虔なものの存在を感じたに違いない。日頃、日本人は壮厳な感じの夕日を見て感動したり、又朝日に向かってパンパンと拍手を打つのは、一神教に育まれた欧米や中東の人々から見れば宗教でもなんでもないのであろう。しかし、この歌の中に日本人の精神・宗教心が集約されているといってもいいのではないだろうかと述べている。

日本文芸出版の知の探求シリーズ「日本宗教のすべて」の中で著者である、瓜生中・渋谷申博の両氏もこの五木寛

之氏と全く同じ見解を述べている。私も全く同感である。私が日本人の宗教について書きたいと思ったきっかけは、日本人は宗教心を持っているのに、その曖昧さゆえに無宗教と思われている国際的評価に反発を感じるのであるが、どうやらその事がオウムに代表されるようなカルト教団にやすやすと騙されてしまう人の多さとが関連しているような気がしてならないのである。

そのことはさておき、西洋の文化はある意味で人工的であり、東洋の文化は自然と一体化するところに特徴があり、その差異が宗教の定義の違いを生み出していると思われる。無宗教と思われている理由に、宗教に限らず、その他の事に関しても日本人の曖昧さが指摘される。曖昧という言葉の中には寛容さも含まれているのではないか。太平洋戦争の時、鬼畜米英と教えられアメリカ人は一億総意にもとずく憎悪の対象であったはずが、終戦後しばらくするとアメリカ人に対する国民的反感はたちまち薄らいだ。世界的に眺めて見ればこんなことはまれで、民族的対立は根深いものがあり、長く続くと同時に憎悪の感情も簡単には解けないものである。

日本人の外来文化や外国人に対する態度は、一言で言えば「寛容」に尽きるのではないか。四方を海に囲まれた島国日本は、他民族の侵略を受け、長い間占領された歴史を持たず、他国から入ってくるものは、常に自国より優れた文物であり、むしろ好ましいものであった。他国と境を接する他のアジア諸国やヨーロッパ諸国では、寛容で無関心であれば、たちまち国を追われ民族の滅亡につながるのである。

気候の影響も多分にあると思われる。一般的には温暖な気候に恵まれているものの北国の冬の積雪や台風など自然の猛威によって忍従的受容的な態度が形成され、それが外来文化や異国民に対する寛容さとなって表われ、それがまた曖昧さともとられるようになったのではないか。

話をもとに戻したい。私が言いたいのは、先にも少しばかり触れたが、日本人の宗教に対する曖昧さが悪意を持ったカルト教団の教祖に、いとも簡単に騙されてしまうことにつながってはいないだろうかということである。宗教の定義については確定的な説はないようだが、少なくとも世界の三大宗教に共通する価値観をしっかりと把握していれば日常的には多神教的でも、また、西行法師の歌にある「なにごと」に感動する心情であろうともインチキ宗教に騙されることはないのではないか。それは絶対的価値への信仰と、それを実現した宗教である。絶対的価値とは、仏教では釈迦の悟りの世界であり、キリスト教の神であり、イスラム教の神である。神も仏も大自然の節理であり、生命であり、力であり、真理であることを忘れないことが大切であろう。

第94回例会報告

日 時：平成15年8月7日（木）

場 所：八王子エルシー 3階

〈司会〉田中例会委員長

出席者 会員 49名

来賓 八王子南RC加賀谷 恵会長、廣瀬武彦幹事

1.会長挨拶

7月15日過ぎから新メンバーとなり各委員会の懇親会に会長、副会長、幹事、副幹事が出席した。どの委員会も今年のテーマに対し大変意欲が見られ嬉しく思った。7月初めに元八王子中学校より“奉仕”をテーマにした講演を依頼され、奉仕する一番最初の行動「手をかそう」をテーマに話をを行った。訪問時に女生徒達が優しく通用門の扉を開け閉めしてくれたことに対し感銘を受け、「彼女達の行動がすでに身近なボランティア活動のひとつである。」と校長と話をした。そのことに対し校長が「一般の教師は生徒達に対し否定から始まるので、他の人から感謝されたことは、今後の自信につながりました。」と、逆に感謝を受けた。

また、八王子南ロータリークラブに挨拶に伺ったところ世界ロータリークラブのテーマが「手をかそう」ということで同じことを考えていた。

今年は外に対して何か出来ることをしよう。小さなものにも目をかけ、耳を傾け、手をかそう。をテーマに行なっていきたい。

2.来賓挨拶（加賀谷 恵 東京八王子南ロータリークラブ会長）

助成金を八王子南ロータリークラブよりプロバスクラブへお渡ししましたのでどうぞお納め下さい。本年度より当八王子南ロータリークラブとプロバスクラブは、いっそうのお付き合いをさせていただきたいと思えます。今後ともご案内を申し上げますので、共に活動していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

3.幹事報告（下山幹事）

- ①全日本プロバス協議会に正式加盟した。
- ②八王子市民健康づくりのため意見交換会があり、健康ネット21という仮称で準備会が行われ、当プロバスクラブも参加51団体のひとつとして10月に正式参加することになった。
- ③電子メールの調査表配布。メールアドレスを持っている方はアドレス帳作成のため調査表にご記入してください。
- ④八王子ボランティアネットワークの記念講演会が10月25日（土）エルシーにて行われますが、当プロバスクラブが後援団体として参加。講演者は「国境無き医師団」の日本会長の寺田あきこ氏で、参加料は2000円。
- ⑤立川会長の提案により、日本ユニセフ協会のための募金箱を用意したのでご協力をお願いします。

4.委員会報告

◎情報委員会（橋本副委員長）

当プロバスクラブのホームページの立ち上げは、コンテンツ作成を含め只今準備段階です。作成方針としては外部へ向けての情報発信を考えております。

◎会員委員会（大山副委員長）

会員の増強を行うのはもちろんのこと、質を落とさない程度の適正な増員で7～10名、全体で70名

くらいを目標に行っていきたい。なお、増員方法としてアンケート、推薦書、申込書に記入の上申し込み頂きたい。また、必要の方には設立主旨等を作成しお渡しします。審査会は毎月第1木曜日とし、審査を行います。

本年も親睦旅行を行いたいのので、ご協力お願いいたします。

◎ 研修委員会（須藤委員長）

卓話は現在8番台近くにきております。皆様準備をお願いします。また、11月13日の例会を野外例会と考えています。

◎ 地域奉仕委員会（宮崎委員長）

人数が多く仕事の多様のため、Aグループ・Bグループに分けて活動します。Aグループは生涯学習サロンを中心に企画・運営を行い、Bグループは野外サロン・いちょう祭り・外部団体との窓口となります。

第8回生涯学習サロンのアンケートを来月例会までに必ず提出していただきたい。

◎ 例会委員会（田中委員長）

①通常第2木曜日ですが盆休みのため今回は第一木曜日に変更した。次回は通常通り9月11日（木）です。

②今回は各委員会ごとのテーブルにし懇談会がスムーズに行われるようにしたが、9月は自由席となり、フリートークを行えるように考えております。

5.卓話（秋山邦博 会員）

テーマ：“言葉と暮らし”

以前NHKで有識者350名に、あなたが美しいと思う日本語を6つあげてください？というアンケートで、あげられた言葉はひとつを除けば全てあいさつ言葉だったそうです。一位は『ありがとう』二位が『さようなら』あいさつ言葉以外では『さわやか』だそうです。

また先日PTA連合会でお話しさせて頂いた中でもっとも多かったのが『平和』という言葉でした。どうやらその時代の思いが込められているように思いました。

しかし最近では、あいさつという言葉が少なくなってきているのではないのでしょうか？その美しいとされる言葉が少々忘れられている様です。

ところで挨拶とはなんでしょうか？漢字でかくと「互いに近づき、責め合う」という意味だそうです。あいさつ言葉にはそれぞれ意味があります。『有難う』には、（滅多に無いのにやって下さってありがとうございますという感謝の気持ち）、『さようなら“然様”』には、（さようならば、これにて失礼つかまつるという意味）『いただきます』には（頭にのせていただく仏教徒の習慣からきた頂戴する）また『“ご馳走様”』は（私のために走り回って準備して下さったのでしょうかという気持ち）から。『こんにちは』は、（今日のご機嫌いかがですか）、『“お陰様で”』には（あなた様のお陰さまで生きております）という言葉からきています。これらの言葉は外国には無い、日本古来から暮らしの中にある美しい言葉です。

また今日言葉の意味だけではなく、暮らしの意図までよくわからなくなってきています。神棚の間口は3尺6寸5分。365日神様に毎日手をあわせ願うことの意味を持っています。このように我々の暮らしの中には意味があります。意味が分からなくなってくると神棚もあいさつも減ってきます。

言葉はコミュニケーションのきっかけで、人と人が繋がっていく唯一の方法だと思っています。あいさつをし、人と心のつながりをもてる様、心がけていきたいと思っています。

6.その他なし。

7.委員会ごとの懇談行いました。

8.プロバスソング斉唱

9.閉会 14時40分

※次回例会 9月11日（木） 12時30分

2003～2004年度のテーマ「－喜びを分かち合おう・支えあえる仲間になろう－」

第95回例会報告（司会 田中例会委員長）

日時 平成15年9月11日（木）午後0時30分～

場所 エルシー八王子3階

出席者 会員53名（出席率82%）

来賓 八王子南RC 加賀谷恵会長、廣瀬武彦幹事、小沢春美プロバス担当委員長

東京多摩RC 岡野一馬35周年記念実行委員長、水野晴之、林彰一、小西弘純の各氏

1 会長挨拶

皆様こんにちは、本日はお客様が大勢お見えになり、一寸部屋が狭く窮屈であると思いますが（これは現在、改装中で15日完了予定）どうかご辛抱いただき最後までお付き合いを頂きたいと思っております。今年の夏は冷夏、冷夏だといわれながら、この数日間は真夏に戻ったような暑い中、また遠い所から、本日は東京多摩ロータリークラブの岡野35周年記念実行委員長様をはじめ御四方のご来賓、また八王子南ロータリークラブからは加賀谷会長様をはじめ御三方と7名ものお客様をお迎え致しました。後ほどご挨拶を頂戴したいと思っておりますが、取りあえず私が先にご挨拶をさせていただきます。今年の夏は8月の例会が一寸早かったので、随分お久しぶりのような気がいたしますが、寒いといわれた夏を皆様どのように過ごされたのでしょうか。皆様のお元気な顔を拝見してうれしく思いました。

私は3週間前にモンゴルへ再度行って来ました。帰ってきてまだ2週間ほどです。そのモンゴルへは昨年から3回目の訪問ですが、今年が本番で、何時も活動しているガールスカウト東京都支部の子供達25名（高校生）を連れて、植樹の奉仕に行ってきた。40年以上毎年緑の募金を続けてきており、それにより国土緑化推進機構の助成を得て（全額ではないが）唐松、モミの木、その他灌木類合わせて2,000本位（現地のお金で1,000万円）を植えてきました。

これは5カ年計画で、今までは緑がなかったのですが、この次も元気があればまたモンゴルへ行きます。このとき非常に感じたことは、今年の日本は冷夏、ヨーロッパは猛暑でありましたが、モンゴルは雨がものすごく多く、砂漠も草原も緑が青々としており、昨年は真っ黄色だった土地が今年は緑一杯で、家畜類が緑を食む姿を見て、モンゴルが少しは豊かになるのではないかと思います。また、特に感銘を受けたのは、若い男女モンゴル大学生の通訳能力の高さで、日本にも留学せず、たった2年間の勉強で意思の疎通を巧みに行う能力に感銘を受けました。

まだまだ、お話ししたいことがありますが、次の機会に譲るとして、最後に連絡事項があります。

- ① 夏休み中にもかかわらず、各担当委員会がそれぞれ集まり、活発に議論を進めながら意見交換を行い、本年度の目標とするテーマの骨子を固めつつあることが、理事会に報告としてあがってきている。これらの努力は当クラブの反映に繋がると思う。会員の努力に感謝するとともに、秋の活動シーズンにもよろしく願いたい。
- ② 大阪プロバスクラブが中心で推進しているプロバスの全国大会が迷走している。具体化したら報告する。
- ③ 横浜プロバスクラブからこのところ、書面、電話等でしきりにアプローチがある。何か経営難の様子、八王子プロバスクラブの運営ノウハウを学びたいと。10月に元会長の平原会員が赴き、講演をする予定。きっと良い平原ワールドを造って来られるのではないかと期待している。
- ④ 会長が関係している八王子フィルハーモニー管弦楽団の第30回記念定期演奏会が10月26日に八王子市民会館で行われる。なお、ゲストとして、ドイツ国ザクセン州のアマチュアオーケストラ：ケムニッツ（40名）が再来日し演奏会に華を添える予定。（入場料1,000円）
- ⑤ プロバスクラブは今年8年目を迎えて、チャーターメンバーの方が随分少なくなってきた。いろいろと、年度ごとの会長にお骨折りいただいたが、プロバスクラブとはどのようなものだと認識が希薄になってきている。副幹事の鶴田会員がインターネットで素晴らしい資料を見つけたので、きちんと整理し、皆さんに伝えるよう依頼してある。プロバスクラブがどのようなものを各自、勉強してほしい。

2 来賓紹介

別紙の通り、東京多摩ロータリークラブ、八王子南ロータリークラブのご来賓を拍手をもって歓迎。

3 来賓挨拶

○八王子南ロータリークラブ 加賀谷会長

先月は欠席したが、時間がある限り出席するつもりである。先程、立川会長の話の中で益々敬服したのは、南RCの予算はプロバスの約10倍ある。プロバスクラブは生涯学習サロン等、きちんとやりながら予算内で運営している。南RCとしても予算の使い方についても、考える必要がある。何時も不足、不足を言うのではなく、部屋の使い方等についても再考の余地がある。つい先週に補正予算を組んだ。誠にお恥ずかしい次第であります。

再来年20周年記念行事が予定されているので、予算を含めて現在作業を進めている。今日の資料の中にプロバスクラブのゴルフコンペの開催通知があった。過去何回か参加したことがある。大変楽しい会でありまして、今回も早速エントリーしたい。

○東京多摩ロータリークラブ 岡野35周年記念実行委員長

多摩RCは来年6月に創立35年を迎える。記念事業としてプロバスクラブを作りたい。八王子では、今まで7年間のロータリークラブとプロバスクラブとのつながりがあるので色々勉強させてほしい。また、プロバスの平均年齢はもう少し上で、先輩の方が多いと思っていましたが、平均年齢が67,8才位だそうで、実際より若々しい構成との印象を受けた。今後のご指導とご厚誼をお願いしたい。

4 幹事報告（下山幹事）

1) 手許にピンクの用紙を配布したが、これは「国境を越えたボランティア活動」についての八王子ボランティアネットワーク結成3周年記念講演会の件である。

期日：10月25日（土）13時30分

場所：エルシー八王子

会費：2,000円（講演会後に交流会あり、会費3,000円）

申し込み：20名枠あり

2) 電子メールアドレス配布の件

先月のアンケートにお答え頂いた方に配布した。リストの中で、自分のメールアドレスに誤りがないかどうかチェックをして、あれば幹事まで連絡をお願いしたい。（誤植：吉田信夫会員のyoshidaのh抜け）

電子メールの活用状況は様々であり、各個人の使い方が不明であり差があるので、メールの出しっぱなしでOKとしないしてほしい。

3) 市民健康作り推進協議会正式名称決定の件

正式名称は「はちおうじ健康づくり推進協議会」で10月21日に発足予定である。

当プロバスクラブも参加する。

5 委員会報告

○会員委員会（中野委員長）

・親睦旅行の件：前年度は長野に旅行したが、当クラブには親睦を深めるという意味もあるので、今年度も実施したい。調査の結果、都合により来年6月中旬を予定している。

・新入会員加入の件：現在の所無し。会員の皆様へのお願いであるが、声を掛けて少しでも増やすように努力したい。希望者があれば、申込用紙は中野または大山副委員長のもとにあるので、申し出ていただきたい。

○研修委員会（須藤委員長）

・野外研修案内：11月例会に合わせて野外研修を実施したいと考えている。今年度は今まで訪れたことのない横浜方面を計画しており、午前は金沢文庫、中華街で昼食をはさみ、午後は横浜開港資料館、神奈川県立歴史博物館を予定している。集合出発時刻が早いのでこの1日のみ、早起きして遅刻の無いようお願いしたい。会費は前年度並みの5,000円を予定しており、10月9日に集金を予定している。また、個人的に希望事項があれば委員長に申し出られたい。

・卓話：10月は橋本鋼二会員に依頼している。

○地域奉仕委員会（橋本副委員長）

・先月の例会で第8回生涯学習サロンのアンケート用紙を配布したが、回収については、本日受付にて回収をさせていただく。未提出の会員がないように、全会員の協力をお願いしたい。

・野外サロンについてはこんな所についてみたいという所があれば、是非記入いただき建設的なご意見を賜りたい。是非協力下さい。

○例会委員会（田中委員長）

・エルシーが現在四階を全面的に改装中で、15日に完成予定である。本日は狭いところになったが、来月からはもう少しゆっくり座れる席を用意できるのではないかと考えている。配席については

7、8月は各委員会毎にアレンジした。9、10月の配席はフリーでテーブル毎に、自己紹介、近況報告などお互いの理解を深めるようにしてください。

・11月は野外例会になるが、車中での例会となる。

○ 情報委員会（武田委員長）

・プロバスだよりについて：8月は編集部・印刷所が夏休みを頂いたので、2ページ構成となったが、お読みいただきたい。プロバスだよりの投稿については、未投稿の方や新しい番号の方（新入会員）は色々材料をお持ちだと思うので、是非積極的に原稿を出していただきたい。また、新しく連載等をやってみたいと思う方も歓迎します。

・ホームページ制作について：本年度のメインはホームページの制作であり、9月後半から本格的に検討してゆく予定である。当面は情報委員会で基本的な枠組みを作成するが、コンテンツについては会員諸兄のご協力をお願いしたい。プロバスだよりはクラブ内部の連絡、会員相互の親睦、理解、あるいは活動の記録として残すことに重きを置くが、ホームページは外部への情報発信を主目的として、例えば我がクラブのメイン活動である生涯学習サロンや卓話のような、自他の相互啓発などをPRすることを第1義的とし、インターネットを使うので、ゆくゆくは英文化して国内のみならず、世界への発信を目指したい。

6 卓話（吉田信夫会員）

テーマ：CTスキャナの進歩

1973年（昭和48年）英国EMI社が初めてCTスキャナを開発した。CTスキャナは頭部を解剖しないで、脳梗塞と脳溢血が診断できるとの事で、急速に普及した。その後、CTスキャナは格段に進歩し、医療診断機器としての有用性はさらに高くなった。

解説（配付資料参照）

①撮影時間の短縮

心臓や肺などは動きがあるため、撮影時間を短縮する事により、その動きによる画像のボケをなくすことが要求された。開発当初は数分かかっていた撮影時間が1980年には1秒、2003年には0.4秒にまで短縮、心臓の撮影もできるようになった。

②画像の高画質化

画質も改善され、身体の詳細な部分が見えるようになった。腫瘍などは3mmの大きさまで見え、早期診断、早期治療が可能になった。

③ヘリカル方式

ヘリカル（らせん）方式による連続撮影により、立体画像の撮影が可能になった。これにより、診断能力が飛躍的に増大した。例えば、肺30cmの部位を4秒で撮影でき、肺の検診に威力を発揮するようになった。

CTスキャナは通常のX線診断機器と同じように、X線被爆の問題があるが、その高度な診断能力により、病氣的確な診断と治療に有用な医療機器である。

7 その他

○ 「秋の茶会」のお誘い（主催 八王子市文化祭実行委員会、八王子市教育委員会）

- ・ 期日：10月26日（日）
- ・ 場所：クリエイトホール
- ・ 時間：午前10時～午後3時
- ・ 参加：当クラブから古川純香、阿部治子会員が参加
- ・ 申込み：10月9日（木）の例会時に矢崎会員が希望者を受け付け
- ・ 会費：1,000円

○ プロバスクラブ囲碁大会

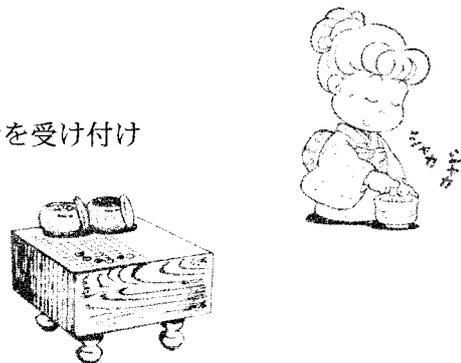
- ・ 期日：10月23日（木）～24日（金）
- ・ 場所：藤野・陣屋温泉
- ・ 費用：15,000円
- ・ その他：碁盤を囲まない会員も大歓迎です

8 プロバスソング斉唱

9 閉会（大高副会長）

防災の日、東京の災害発生率シミュレーションではニューヨークの17倍、シンガポールの200倍とのこと、各家庭の防災に対する意識をさらに高めねばならないと認識した次第である。本日はこれにて閉会とします

次回例会 10月9日（木）12時30分



悪魔の弁護人とへそ曲がり

藤野 豊

悪魔の弁護人という言葉を知ったことがあるだろうか。フランス語で *avocat du diable*、英語で *devil's advocate* という。もとはカトリックの用語で、辞書には「聖人に列すべき候補者に異議を唱える非難役」と訳されている。故人を聖人に列しようとするとき、教会内で「列聖調査」を行うが、調査役が異口同音に「賛成、賛成」といったのでは、結論を誤ることもあるので、調査役の一人がわざと反対役に回り、「この人物は聖人に値しない」と力説する。そのことによって、審査が慎重になり、誤った結論を避けることが出来るというのである。サクラの一種かもしれないが、わが国の「賛成」「異議なし」を叫ぶサクラでなく、「反対」を唱えるサクラである。外国での経験であるが、法律家の会議で、長老に次ぐくらいのキャリアの持ち主が「今日は私が悪魔の弁護人役をやりましょう」といって、気軽に反対論を述べたり、疑問を提出したりして、会議の議論を盛り上げる役を引き受けていた。悪魔の弁護人役がいることによって、議論は活発化し、「賛成、賛成」だけの声が響く会議では見逃したかもしれない論点を発見することが出来、結局妥当な結論に至ることが出来たのである。日本では、悪魔の弁護人という言葉はよく知られていない。しかし、これに似たような議論の仕方はある。会議のとき組織の長が、自分の本心でない意見をいかにも本心であるかのように出して見せ、部下の反応を見ようとする。長の本心が分かっている部下は内心にやにやしながら、それなりの、あとで困らないような意見を出す。本心が分からない部下は、むきになって反論する。若さの特権である。最も下等なのは、長の出した意見が本心だと思ってヨイショをする人だが、そんなバカはあまりいない。裁判では、普通両方に代理人がつくので、そのう

えさらに悪魔の弁護人がいる必要ないと思われがちである。しかし、法廷の審理が終わって、評決をするとき、もはや双方の代理人は退席しているから、やはり悪魔の弁護人役は必要である。陪審裁判では、陪審員全員が始めからひとつの意見に傾いてしまう危険がある。米国映画「十二人の怒れる男」では、評議の始めから陪審員のほとんど全員が有罪説をとる中で、一人だけへそ曲がりの男が無罪説を主張し、自説を貫いた結果、最後は全員が無罪説になったストーリーである。このへそ曲がりの男は、意識して悪魔の弁護人を演じたのではないが、結果としてこの役を演じ、陪審がよい結論に到達するのに貢献したのである。日本でも数年後には、裁判員制度を実施するが、うまく行くのか。裁判員の教育程度から言えば、日本は世界最高水準にある。文盲の人を探すのが難しいほどである。この面では、なにも心配はいらない。問題は、簡単に他人の意見に同調しないへそ曲がりがあるかである。日本人は頭の回転が速くて、協調性があるのは長所といえるかもしれない。反面、議論のとき多数説が形成されそうになると、吾も吾もと同調者が出て、迅速ではあるが危うい結論に至るのではないか。それに、日本人はとにかく全員一致をやたらに尊ぶ。少数でも反対説があると、決議に重みがないように考え、「形だけでも全員一致にしてもらえませんか」と裏工作で少数説の人に自説の撤回を頼んで廻るような悪習がある。ユダヤでは、「全員一致の決議は無効である」という。全員一致は、自分の頭で考えない、軽率な意見が束ねられただけのものであって、合議体の集約された、拘束力ある結論とはならないというユダヤ人の知恵は、非常に大切なことを教えている。

○会員の動き

・大野聖二会員

平成15年度中央公民館成人講座・「八王子～高尾山へ」5回シリーズ
第1回 11月5日 「古老に学ぶ八王子縁起物語」 講演

講座の申し込み 往復はがきで「高尾山」・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・返信面の宛名を記入 ・費用 1,000円

10月14日必着 〒192-0082 八王子市東町5-6 中央公民館

講座の詳細は中央公民館（48-2232担当：紅林さんまで）

・平原俊彦会員

10月10日、横浜プロバスクラブにて講演